

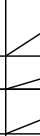
岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事

[illegible]

工事名 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事特記仕様書																																					
Ⅰ. 工 事 概 要																																					
1.	工事場所	岩手県宮古市河南一丁目5番1号	(用途地域 指定なし 防火地域 指定なし)																																		
2.	敷地面積	56,636.00 m <sup>2</sup>																																			
3.	工事種別	改修																																			
4.	工事規模	学生寮 1638.68 m <sup>2</sup>																																			
5.	工事範囲	天井改修、家具改修、建具改修、内装改修、屋外改修																																			
Ⅱ. 改 修 工 事 仕 様																																					
1. 共 通 仕 様																																					
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修仕様」という。）による。 ただし、改修仕様に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。																																					
2. 特 記 仕 様																																					
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記仕様は、●印の付いたものを適用する。 ●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と●印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記仕様書に記載の〔 〕内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ( ) 内表示番号は、構仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) □印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。																																					
章	項	特 記 事 項																																			
Ⅰ  般  共  通  事  項	①. 適 用 基 準	図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による ・ 建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官庁営繕部 ・ 本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準を指す。（最新版） 建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通省大臣官庁営繕部整備課																																			
	②. 工事実績情報 の登録 (工事カルテ)	・ 適用する [1. 1. 4]																																			
	③. 発 生 材 の 処 理 等	引渡しを要するもの [1. 3. 12] ※ なし ・ あり （種類：                  処理方法：                  ）  特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり （                                  ）  ※ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。  現場において再利用を図るもの （                                  ） ※ 現場における分別一保存材は、分別する。																																			
	④. 現場技術員等	現場には下記の現場技術員等を置く。 [1. 3. 2] ○ 管理技術者又は主任技術者：建設業法第26条による有資格者を専任又は常駐させること。 ○ 現場技術員                                  ：適正な技術員を専任又は常駐させること。																																			
	5. 電気保安 技術者	・ 適用する [1. 3. 3]																																			
	⑥. 技 能 士	[1. 6. 2]																																			
	<table border="1"><thead><tr><th>技 術 検 定 の 職 種</th><th>作 業 の 種 別</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事（○とび）</td><td>○ 全て</td></tr><tr><td>鉄筋工事（・ 鉄筋施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>コンクリート工事（・ 左官・ 型枠施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>鉄骨工事（・ とび）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（・ ブロック建築・ALC外施工・カーテンウォール施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>防水工事（・ 防水施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>石 工 事（・ 石材施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>タイル工事（・ タイル張り）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>木 工 事（・ 建築大工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>屋根・とい工事（・ 建築板金・スレート施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>金属工事（・ 内装仕上げ施工（鋼製下地））</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>左官工事（○ 左 官）</td><td>○ 全て</td></tr><tr><td>建具工事（・ サッシ施工・ガラス施工）</td><td>・ 全て</td></tr><tr><td>塗装工事（○ 塗 装 ・ 樹脂接着材注入施工）</td><td>○ 全て</td></tr><tr><td>内装工事（○ 内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）○ 装盤）</td><td>○ 全て</td></tr><tr><td>植栽工事（・ 造 園）</td><td>・ 全て</td></tr></tbody></table>			技 術 検 定 の 職 種	作 業 の 種 別	仮設工事（○とび）	○ 全て	鉄筋工事（・ 鉄筋施工）	・ 全て	コンクリート工事（・ 左官・ 型枠施工）	・ 全て	鉄骨工事（・ とび）	・ 全て	ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（・ ブロック建築・ALC外施工・カーテンウォール施工）	・ 全て	防水工事（・ 防水施工）	・ 全て	石 工 事（・ 石材施工）	・ 全て	タイル工事（・ タイル張り）	・ 全て	木 工 事（・ 建築大工）	・ 全て	屋根・とい工事（・ 建築板金・スレート施工）	・ 全て	金属工事（・ 内装仕上げ施工（鋼製下地））	・ 全て	左官工事（○ 左 官）	○ 全て	建具工事（・ サッシ施工・ガラス施工）	・ 全て	塗装工事（○ 塗 装 ・ 樹脂接着材注入施工）	○ 全て	内装工事（○ 内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）○ 装盤）	○ 全て	植栽工事（・ 造 園）	・ 全て
	技 術 検 定 の 職 種	作 業 の 種 別																																			
	仮設工事（○とび）	○ 全て																																			
	鉄筋工事（・ 鉄筋施工）	・ 全て																																			
コンクリート工事（・ 左官・ 型枠施工）	・ 全て																																				
鉄骨工事（・ とび）	・ 全て																																				
ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（・ ブロック建築・ALC外施工・カーテンウォール施工）	・ 全て																																				
防水工事（・ 防水施工）	・ 全て																																				
石 工 事（・ 石材施工）	・ 全て																																				
タイル工事（・ タイル張り）	・ 全て																																				
木 工 事（・ 建築大工）	・ 全て																																				
屋根・とい工事（・ 建築板金・スレート施工）	・ 全て																																				
金属工事（・ 内装仕上げ施工（鋼製下地））	・ 全て																																				
左官工事（○ 左 官）	○ 全て																																				
建具工事（・ サッシ施工・ガラス施工）	・ 全て																																				
塗装工事（○ 塗 装 ・ 樹脂接着材注入施工）	○ 全て																																				
内装工事（○ 内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）○ 装盤）	○ 全て																																				
植栽工事（・ 造 園）	・ 全て																																				
7. 施 工 条 件	施工順序に制約がある場合 [1. 3. 5]  その他の施工条件 [1. 3. 5]																																				
⑧. 建築材料等	(a) 原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。 (b) 環境への配慮 [1. 4. 1] ※ 改修仕様 1.4.1 にによる																																				
⑨. 特別な材料の 工 法	改修仕様に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 [1. 4. 2]																																				

一般 共通 事項	⑩ 提出書類	請負契約に定められている書類																												
	(契約後)	<input type="radio"/> 工事工程表 <input type="radio"/> 現場代理人、主任技術者等属 <input type="radio"/> 下請調書																												
	(工事中)	<input type="radio"/> 火災保険加入契約書（写） <input type="radio"/> 請負代金内訳書																												
	(完成後)	<input type="radio"/> 工事完成届 <input type="radio"/> 工事完成引渡書（引渡図書目録添付）																												
	改修機材、特記仕様書等に定められている書類																													
	(契約後)	<input type="radio"/> 製造所等承諾届 <input type="radio"/> 工事総合施工計画書 <input type="radio"/> 現場技術員届																												
	(工事中)	<input type="radio"/> 各種工事施工計画書 <input type="radio"/> 各種工事施工図 <input type="radio"/> 工事作業日報																												
	(完成後)	<input type="radio"/> 主要資材規格又は品質証明書 <input type="radio"/> 各種試験成績書又は報告書																												
	(工事中)	<input type="radio"/> 主要資材搬入検査簿 <input type="radio"/> 技能士合格証明書																												
	(完成後)	<input type="radio"/> 完成図（修正設計図） <input type="radio"/> 責任施工保証書 <input type="radio"/> 各種届出書等																												
⑪ 施工图及び 施工計画書	<p>施工图及び施工計画書の提出について</p> <p>(a) 施工图及び施工計画書は、各工程において作成し提出する。</p> <p>(b) 施工图の記載内容及び記載水準は、建設大臣官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年）」に準ずるものとする。</p> <p>(c) 本工事に係る施工图及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り免注者に委譲するものとする。</p> <p>(d) 提出部数は、施工图の原図及びその陽面複写図（１部）とする。ただし、製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。</p>																													
⑫ 完 成 図	<input type="radio"/> 提出図書                  ※ 監督員の指示による。 [1.8.2] <input type="radio"/> C A Dデータ         ※ 監督員の指示による。																													
⑬ 工事 完成写真	<p>下記のものを監督員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>分 類</th><th>規 格</th><th>撮影箇所数</th><th>部 数</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着 工 前</td><td>※カラー</td><td>※サービス版</td><td>監督員の指示による。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>工事施工状況</td><td>※カラー</td><td>※サービス版</td><td></td><td>監督員の指示による</td><td></td></tr> <tr> <td>完 成 時</td><td>※カラー</td><td>・ キヤピネ版 ・ サービス版</td><td>（撮影計画を提出する）</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						区 分	分 類	規 格	撮影箇所数	部 数	備 考	着 工 前	※カラー	※サービス版	監督員の指示による。			工事施工状況	※カラー	※サービス版		監督員の指示による		完 成 時	※カラー	・ キヤピネ版 ・ サービス版	（撮影計画を提出する）		
区 分	分 類	規 格	撮影箇所数	部 数	備 考																									
着 工 前	※カラー	※サービス版	監督員の指示による。																											
工事施工状況	※カラー	※サービス版		監督員の指示による																										
完 成 時	※カラー	・ キヤピネ版 ・ サービス版	（撮影計画を提出する）																											
⑭ 設備工事との 取合い	<p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示した貫通孔、開口部の型式及びそれらの補強</li> <li>・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強</li> <li>・ 駆動装置が電動による建具開きの２次配線及び操作スイッチ</li> <li>・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切り込み及び補強</li> </ul> <p>施工图</p> <p>設備機器の位置、取合い等が検討できる施工图を提出して、監督員の承諾を受ける。</p>																													
15. 施工調査	<p>施工数量調査 [1.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査範囲</th><th>図 示</th><th>外 壁改修範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査方法</td><td colspan="2">図 示</td></tr> </tbody> </table> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 [1.5.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示</li> </ul>						調査範囲	図 示	外 壁改修範囲	調査方法	図 示																			
調査範囲	図 示	外 壁改修範囲																												
調査方法	図 示																													
2 仮設工事	①. 監督員事務所	<p>・ 設ける [2.4.1]</p> <p>（規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による）</p> <p><input type="radio"/> 設けない</p>																												
	2. 監督員事務所の 備品等	[2.4.1]																												
		備品の種類	数量	備品の種類	数量	備品の種類	数量																							
		机 ・ 椅子	組	雨合羽	着	コピー機	台																							
		書籍	台	懐中電灯	個	最高最低温度計	個																							
		ゴム長靴	足	衣類ロッカー	人用	冷暖房機	台																							
		工事用ヘルメット	個	湯沸器	台	消火器	個																							
		黒板又は ホワイトボード	個	パソコン（メール付） 電話（・ FAX付）	台	掃除員	個																							
	③. 工事用水	構内既存の施設																												
		<input type="radio"/> 利用できる（ <input type="radio"/> 有償 ・ 無償）      ・ 利用できない																												
	④. 工事用電力	構内既存の施設																												
		<input type="radio"/> 利用できる（ <input type="radio"/> 有償 ・ 無償）      ・ 利用できない																												
	5.騒音・粉じん 等の対策	防音パネル      防音シート [2.1.3]																												
	⑥. 足 場 等	防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲      ※図示 [2.2.1][表2.2.1]																												
		内部足場 <input type="radio"/> 設置する（※脚立、足場板等      ）      ・ 設置しない																												
		外部足場 <input type="radio"/> 設置する（※枠組足場 ・ 単管足場      ）      ・ 設置しない																												
		防護シートによる養生 ・ 行う（・ 工事に必要な範囲      ）																												
		材料、撤去材等の運搬方法																												
		種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種																												
		C種：利用可能なエレベーター（      ）																												
		D種：利用可能な階段（      ）																												
		・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。																												
	⑦. 既存部分の 養 生	養生の方法等 [2.3.1]																												
		<input type="radio"/> 既存部分      養生の方法 <input checked="" type="radio"/> ビニルシート・合板      ・      )																												
		<input type="radio"/> 既存家具、既存設備等      養生の方法 <input checked="" type="radio"/> ビニルシート等      ・      )																												
		<input type="radio"/> 既存ブラインド、カーテン等      養生の方法      （ ・ ビニルシート等      ）      ・      )																												
		・ 備品、机、ロッカー等の移動      （ ・ 図示      ）      ・      )																												
		既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																												
		仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所      ・ 図示      [2.3.2]																												
		仮設間仕切りの種別と材質等 [表2.3.1]																												
		種別	下地	仕上材（厚さ mm）	塗装	充填																								
		・ A種	木	・ セツコボード（9.5mm）	・ 無し	グラスウール 厚さ mm																								
		・ B種	※ 軽量鉄骨	・ 合板（9mm）	・ 片面																									
		※ C種	単管	防災シート																										
		仮設間仕切に設ける仮設扉の材質等																												
		材質	仕上げ		塗装	備考																								
		※ 木製	※合板張り程度		・ 無し																									
		・	・		・ 片面																									

防 水  改 修  工 事	1. 施工数量調査	調査範囲及び方法	・ 図示	[1. 5. 2～3]	
		既存部分の破壊を行った場合の補修方法	・ 図示		
		調査報告書	提出部数：2部		
	2. 改修用 二重ドレン	・ 設ける（POAS、POASI、POD、PDI、POS、 POSI、POX工法の場合）		[3. 2. 5]	
	3. 既存防水の処理	既存保護層の撤去	・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない	[3. 2. 3～6]	
		既存防水層の撤去	・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない		
		既存露出防水層表面の仕上り塗装除去	・ 行う ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・ 行わない		
		既存防水層の下地補修 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等	・ 図示		
		POS工法及びPOSI工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置	※改修標準仕様書3.2.6(4)⑦⑧⑨による		
	4. アスファルト 防水			[3. 3. 2～5] [表3. 3. 3～10]	
屋根保護防水 防水層の種類					
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※トリプルE4M 厚さ0.15mm以上	・ 乾式保護材 （※図示） ・ コンクリート押え ・ れんが押え （※JIS R 1250）
・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3				
・ P2AI	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3				
・ PIBI	・ BI-1		(材質) ※JIS A 9521による押出法ポリ スチレンフォーム断熱材3種 B(スキ層あり)	※フラットヤーン クロス 70 g/m程度	
・ TIBI	・ BI-2 ・ BI-3				
		(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm			
改質アスファルトルーフィングシート及び部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ					
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9Iによる					
平場の保護コンクリートの厚さ					
こて仕上げ ※水下 80mm以上					
タイル張り ※水下 60mm以上					
・ 乾式保護材					
・ 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの。 ・ 窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様） ・ 窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）					
・ 金属複合板：金属板と樹脂を一体化させたもの。					
表面材は不燃 耐衝撃性500 kg					
屋根露出防水 防水層の種類					
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	高日射 反射率 防水の 適用[G]	備考
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・	
・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4				
・ PDDI ・ M3DI ・ M4DI	・ DI-1 ・ DI-2				
		(材質) ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (種類) ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm			脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
仕上塗装の種類及び使用量					
※アスファルトルーフィング製造所の指定による					
脱気装置の種類及び設置数量					
※アスファルトルーフィング製造所の指定による					
屋根露出防水水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトイレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置					
※図示					
屋内防水					
防水層の種類 [表3.3.1、表3.3.10]					
工法	種別	施工箇所	断熱材	保護層	
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ・ E-2			・ 設ける ・ 設けない	
押さえ金物の材質、形状寸法					
※ アルミニウム製、L＝30×15×2.0mm程度					
屋上排水溝 ・ 適用する（施工範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 適用しない					
5. 改質アスファルトシート 防水					[3. 4. 2～3] [表3. 4. 1～3]
防水層の種類					
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	高日射 反射率 防水の 適用[G]	備考
・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2			・	
・ M3AS ・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3				
・ M3ASI ・ M4SI ・ POASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1				
		(材質) ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm			脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 防護層 ・ 設ける ・ 設けない
仕上塗装の種類及び使用量					

3-2 防水工	6. 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2~4][表3.5.1~3]																			
		防水層の種類																			
		工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上材料		高日射反射率防水の適用 [H]	備考												
		・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	・屋根 ・庇		・	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない												
		・S3S	・S-F1 ・S-F2			・	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない												
		・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない												
		・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-F1 ・S1-F1	※改修標準仕様書3.5.2 (3)(エ)(5)による (厚さ)・25mm 50mm		・	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない												
				※改修標準仕様書3.5.3 (3)(エ)(5)による (厚さ)・25mm 50mm		・	・	・													
		屋内防水 防水層の種類																			
		PIS工法の種別	施工箇所	保護層							立上り部の保護モルタル塗り										
				塗り厚さ		・床塗り工法		・下地モルタル塗り													
		・S-C1	・	※改修標準仕様書 6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる		※改修標準仕様書 6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる				※7mm以下											
7. 塗膜防水		絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート																			
		断熱装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による																			
		接着工法のPココンクリート下地の目地処理 ・行う(・図示) ・行わない																			
		Pココンクリート部材の入隅部の増張り ・行う(・図示) ・行わない																			
		Pココンクリート部材 (種別S-F1、S1-F1の場合)の入隅部の増張り ・行う(※図示) ・行わない																			
		機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付けは、建築基準法による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法とする																			
		[3.6.2~3][表3.6.1~2]																			
		工法	種別	施工箇所	仕上材料	高日射反射率防水の適用 [H]		備考													
		・POX	※X-1 ・X-2	・庇	・製造所の仕様による	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない													
		・L4X	・X-1 ※X-2		・製造所の仕様による	・	・	断熱装置 ・設ける・設けない													
		・PY1 ・PY2	※Y-2					保護層 ・設ける・設けない													
8. シーリング		断熱装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の仕様による																			
		・断熱装置の種類: ・設置数量: 個/㎡																			
		シーリング																			
		シーリング改修工法の種類																			
		・シーリング充填工法																			
		・シーリング再充填工法																			
		・部幅シーリング再充填工法																			

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
						図面内容 改修工事特記仕様書_1	縮尺 NO SCALE	図面 区分 建築意匠 A-001

[illegible]

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
						図面内容 改修工事特記仕様書_2	縮尺 NO SCALE	図面 区分 建築意匠 A-002

5-2 建具 改修工事	8. 鋼製軽量建具	性能等級 [5. 2. 2] [5. 5. 2~4] 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号：・建具表による・） ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5. 5. 1)による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材 9. ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ステンレス鋼板 ※SUS 304 ・SUS 430J1L ・SUS 443 J1 表面仕上げ ※ H L仕上げ ・鏡面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・角出し曲げ
	10. 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5. 7. 2~4] ※ 改修標準仕 表5. 7. 1及び表5. 7. 2)による 樹脂製建具に使用する丁香 ※改修標準仕様書表5. 7. 3)による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ・建具表による マスターキーの製作 ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 ・ 鍵箱 ・有り ・無し
	11. 自動ドア開閉装置	[5. 8. 2~3] 自動ドア 開閉装置の性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※改修標準仕様書 表5. 8. 1)による ・SSLD-2 ・DSDL-1 ・DSDL-2 ・適用する ・適用しない ・図示 戸の開閉方式 ・建具表による 凍結防止装置 ・適用する ・適用しない 12. 自閉式上吊り引戸装置 [5. 9. 3] 自閉式上吊り引戸装置の性能値 ※ 改修標準仕 表5. 9. 1)による 13. 重量シャッター [5. 10. 2~3] シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m <sup>2</sup> ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m <sup>2</sup> ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 二重フェン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッター ※図示 障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示 屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式 ・設けない 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類の蓋の材質 ・ステンレス鋼板 14. 軽量シャッター [5. 11. 2~4] 開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）N/m <sup>2</sup> スラットの材質 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z06又はF06 ・JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-5%Al-亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 ※ AZ90 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示 15. オーバーヘッドドア [5. 12. 2~3] セクション材料による区分 耐風圧区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質 ※ スチールタイプ ・1250 ※ バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・1000 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 (※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1) ・ファイバーグラスタイプ ・750 ・電動式 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 障害物感知装置を設けた電動タイプ ※図示

5-3 建具 改修工事	16. ガラス [3. 7. 2] [5. 13. 2~4] [表5. 13. 1] ・特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示（建具表）による ・フロート板ガラス ※品質、厚さは建具表による ・型板ガラス ※品質、厚さは建具表による ・網入板ガラス及び縁入板ガラス 品質、厚さ及び網又は縁の形状 ※建具表による ・合わせガラス 品種 構成種類 球面衝撃はく離特性、ショットバック衝撃特性 ※建具表による ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 破片の状態及びショットバック衝撃特性 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・Ⅰ類 ・熱線吸収強化ガラス ・Ⅲ類 ・型板ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品種 性能 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・2種 ・複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による 品種 断熱性の区分 日射取得性・遮へい性による区分 乾燥気体の種類 ・断熱複層ガラス ・T1 ・T3 ・T5 ・G ・S ・空気 ・アルゴン ・日射熱遮へい複層ガラス ・T1 ・T3 ・T5 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射板ガラス 品種 日射 遮へい性 耐久性による区分 色 調 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 ・ブルー ・グリーン ・ブロンズ ・シルバー ・高性能熱線反射ガラス ・2種 ・A種・B種 ・3種 B種 反射 被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行う ・行わない ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類 厚さ(mm) 色 調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ガスケット ・図示 ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 クリヤ 乳白 平積み 曲面積み 伸縮調整目地(mm) 防火性能 正方形 ・125×125 ・80 ・ ・ ・ ※3~15 外側 ※15以下 幅10~25 ・図示 ・有り ・160×160 ・95 ・125 ・ ・ ・ ・200×200 ・95 ・125 ・ ・ ・ ・320×320 ・95 ・ ・ ・ ・250×125 ・80 ・ ・ ・ ・320×160 ・95 ・ ・ ・ 長方形 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロック幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示） ・設けない カ骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状腹筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（・） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示 シーリング材の種類（・） 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・Ⅰ・Ⅰ. 15・Ⅰ. 3）倍の風圧力に対応した工法 目地部のカ骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 17. ガラスブロック [5. 13. 5] 18. ガラス用フィルム [5. 13. 5] 種類 記号 内貼り用 外貼り用 その他の性能等 ・日射調整フィルム [G] ・SC-Ⅰ ・SC-2 ・低放射フィルム ・LE ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GI-Ⅰ ・GI-2 ・層間変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GD-Ⅰ ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質 JIS A 5759)による
-------------------	---

6  
内装  
改修  
工事

①. 改修範囲	既存開仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6. 1. 3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より内側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・図示 ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ（接着剤とも） [6. 2. 2] ・ 下地モルタルとも（・図示の範囲 ・撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 開仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2] ※ 改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚 25mm を超える場合の補強 ※図示） [6. 5. 1] [表6. 5. 1] [表6. 5. 2] 6. 2. 内装改修工事 ②. 既存床の撤去、下地補修 ③. 既存壁の撤去、及び下地補修 ④. 木下地等の表面仕上げ ⑤. 製材 [G] ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「製材の日本農林規格」による製材 ・下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 6. 5. 2 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「製材の日本農林規格」による製材 ・下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率 ・図示 ・図示 間伐材等の適用 ・造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率 見え掛り面 見え掛り面以外 間伐材等の適用 ・広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 材面の品質 保存処理 含水率 ・図示 ・図示 間伐材等の適用 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・図示 ・図示 間伐材等の適用 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・図示 ・図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 5. 2] ・造作用集成材 施工箇所 樹種 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ・図示 ・図示 ・図示 ・化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板：芯材： 化粧薄板：芯材： ・化粧ばり構造用集成柱 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板：芯材： 化粧薄板：芯材： ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ・図示 ・図示 ・図示 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板：芯材： 化粧薄板：芯材： ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板：芯材： 化粧薄板：芯材：
---------	--

6-2  
内装  
改修  
工事

7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 5. 2] ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用 ・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ・無（等級：） ・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ・無（等級：） ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ※14%以下 ・無（等級：） ・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ※14%以下 ・無（等級：） ・CLT（直交集成板） [6. 5. 2] 施工箇所 品 名 曲げ性能 (強度等級) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種 寸法 (mm) 間伐材等の適用 ・図示 ・図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 5. 2] 下地用合板 ・普通合板 [G] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5. 5 ・1種 ・2種 広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ・図示 ・図示 ・構造用合板 [G] 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 保存処理の等級 防虫処理 強度 間伐材等の適用 ※2級以上 ・1級 ・2級 ・1種 ・特種 ※C-D以上 ※12 ・する ・しない ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・化粧ばり構造用合板 [G] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 備考 間伐材等の適用 ・1種 ・特種 ・適用する ・適用しない ・天然木化粧合板 [G] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 備考 ・1種 ・特種 ・適用する ・適用しない ・特殊加工化粧合板 [G] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用 ・1種 ・2種 ・適用する ・適用しない ・パーティクルボード [G] 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ・※13 P、13Mタイプ ※P 又はM ・※ 15 ・構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ (mm) ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 ・メディアムデンシティファイバーボード（MDF） 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) 間伐材等の適用 ・30タイプ ・25タイプ ・Rタイプ ・15タイプ ・5タイプ ・Pタイプ ・難燃2 ・難燃3 ・9. 接着剤 [6. 5. 3~4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4~5] 接着剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種類 ・図示 10. 防蟻、防蟻処理 [6. 5. 5] ・防蟻・防蟻処理が必要な樹種による製材 適用部位：（） ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・薬剤の塗布による防蟻・防蟻処理 適用部位 処理の方法 薬剤の種類 ※ 改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②ア～エによる ※JIS K 1571に適合又は同等品 ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位：（）
-----------------	--

特 記	改訂番号改訂月日改訂内容	業務番号	工事名称
		24096	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事
			図面内容
			縮尺 NO SCALE
			図面区分 建築意匠
			図面番号 A-003

改修工事特記仕様書\_3



8  
環  
境  
配  
慮  
改  
修  
工  
事

1. 石綿含有建材の  
処理工事

9. 1. 1～5]

施工調査  
※ 石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。  
調査範囲（ ・ 図示 ）  
貸与資料（ ・ ）  
・ 分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト及びトシモライト  
分析方法  

材 料 名	定性分析 (JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4)
	・ 箇所数（ ・ ）	・ 箇所数（ ・ ）
	・ 箇所数（ ・ ）	・ 箇所数（ ・ ）
	・ 箇所数（ ・ ）	・ 箇所数（ ・ ）

  
サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル  
採取箇所 ・ 図示  
石綿粉じん濃度測定  
・ 適用する ・ 適用しない  
測定時期、場所及び測定点  

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・ 測定1	処理事業前		処理事業室内	・ 計 点
・ 測定2			調査対象室外部の付近	・ 計 点
・ 測定3			処理事業室内	・ 計 点
・ 測定4			セキュリティゾーン入口	・ 計 点
・ 測定5	処理事業中		集じん・排気装置の排出口 (処理事業室以外の場合)	・ 計 点
・ 測定6			処理事業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・ 計 点
・ 測定7	処理事業後（ 〆 ）発生中		処理事業室内	・ 計 点
・ 測定8	処理事業後シート		処理事業室内	・ 計 点
・ 測定9	撤去後1週間以降		調査対象室外部の付近	・ 計 点

  
測定方法  
・ 自動測定器による測定  

測定名称	測定方法
・ 測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファインパーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・ 測定5	

  
・ JIS K 3850-11に基づいた測定  

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
・ 測定4 ・ 測定5	25	5	30
・ 測定	47	10	120
・ 測定	47	10	240
・ 測定			

  
石綿含有建材の処理  
・ 石綿含有吹付け材の除去  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去工法 ※ 9. 1. 3 (2) (ア) による  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置  
※ 湿潤化 ・ 図形化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
・ 石綿含有保温材の除去  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし  
除去した石綿含有保温材等の飛散防止  
※ 湿潤化 ・ 図形化  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）  
・ 石綿含有成形板の除去  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去した石綿含有成形板の処分  
・ 石綿含有せつこうボード  
※ 埋立処分（管理型最終処分場）  
・ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板  
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事  
※ 図示による  
2. 断熱アスファルト  
防水改修工事 [9. 2. 1～3]  
3. 外断熱改修工事 [G] [9. 3. 2～4]

8-2  
環  
境  
配  
慮  
改  
修  
工  
事

4. ガラス改修工事

断熱・防露改修工事 [G]

6. 屋上緑化改修工事 [G]

7. 透水性アスファルト  
舗装改修工事 [G]

8-3  
環  
境  
配  
慮  
改  
修  
工  
事

工法  
不陸等の下地調整 ・ 外装材製造所の仕様による ・  
通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし  
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・  
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・  
建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・ 1. 0 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法  
[9. 4. 2]  
複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による  

品 類	断熱性の区分	日照取得性・遮へい性による区分	乾燥気体の種類
・ 断熱複層ガラス	・ T1 ・ T3 ・ T5 ・ T2 ・ T4 ・ T6	・ G ・ S	・ 空気 アルゴン
・ 日射熱遮へい 複層ガラス	・ T1 ・ T3 ・ T5 ・ T2 ・ T4 ・	・ G ・ S	・ 空気 アルゴン

  
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外  
・ 断熱材打込み工法  

種 類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・

  
施工箇所 ・ 図示 ・  
断熱材現場発泡工法  
断熱材の種類（JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム）  
・ A種 1 ・ A種 1 H  
厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・  
施工箇所 ・ 図示 ・  
断熱材後張り工法  
断熱材の種類（JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材）  
・ ( )  
厚さ (mm) ・  
施工箇所 ・ 図示 ・  
[9. 6. 1～3]  
補装基盤及び材料  
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない  
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 ・  
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 ・  
(品質・性能)  

項目	性能
造水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、 補え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> /h 以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>3</sup> N/m <sup>2</sup> の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。（保水層を有する場合は保水層共）
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。

  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・ 1. 0 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法  
かん水装置 ・ 設置する  
(種類 ・ ・ ・ )  
既存保護層の撤去 ・ 行う ( ・ 改修標準仕様書 3. 2. 3 による ・ )  
・ 行わない  
新植した芝及び地被類の枯保障の期間 ※引渡の日から1年  
[9. 7. 2～9]  
路床  
路床の材料  

種別	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示 ・
・ 凍上抑制層	・ 建設汚泥から再生した処理土 [G] ・ 再生クラッシャーラン [G] ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・	・ 図示 ・
・ フィルター層	・ 砂 ・	・ 図示 ・

  
路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
路床安定処理の方法  
・ 添加材料による安定処理 ・  
・ 路床安定処理用添加材料  
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B 種 [G]  
・ フライアッシュセメント B 種  
・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1号)  
添加量 kg (目標 CBR ・ 3 以上 ・ )  
目標 CBR を満足する添加量の確認方法  
・ 安定処理土の CBR 試験

⑨. 化学物質の  
濃度測定

※適用する  
測定時期 ・ 現場説明書による ○ 内装完了時  
測定対象化学物質  
○ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン  
パラジクロロベンゼン  
測定方法 ○バッチ型採取機器による ・  
測定対象室及び測定箇所 ・ 仕上表による ○ 管理人台所食堂、寮室

(1. 5. 9)

特 記

改訂番号改訂月日改訂内容

業務番号

工事名称

岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事

図面内容

改修工事特記仕様書\_5

縮尺

NO SCALE

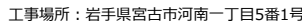
図面区分

建築意匠

図面番号

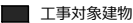
A-005



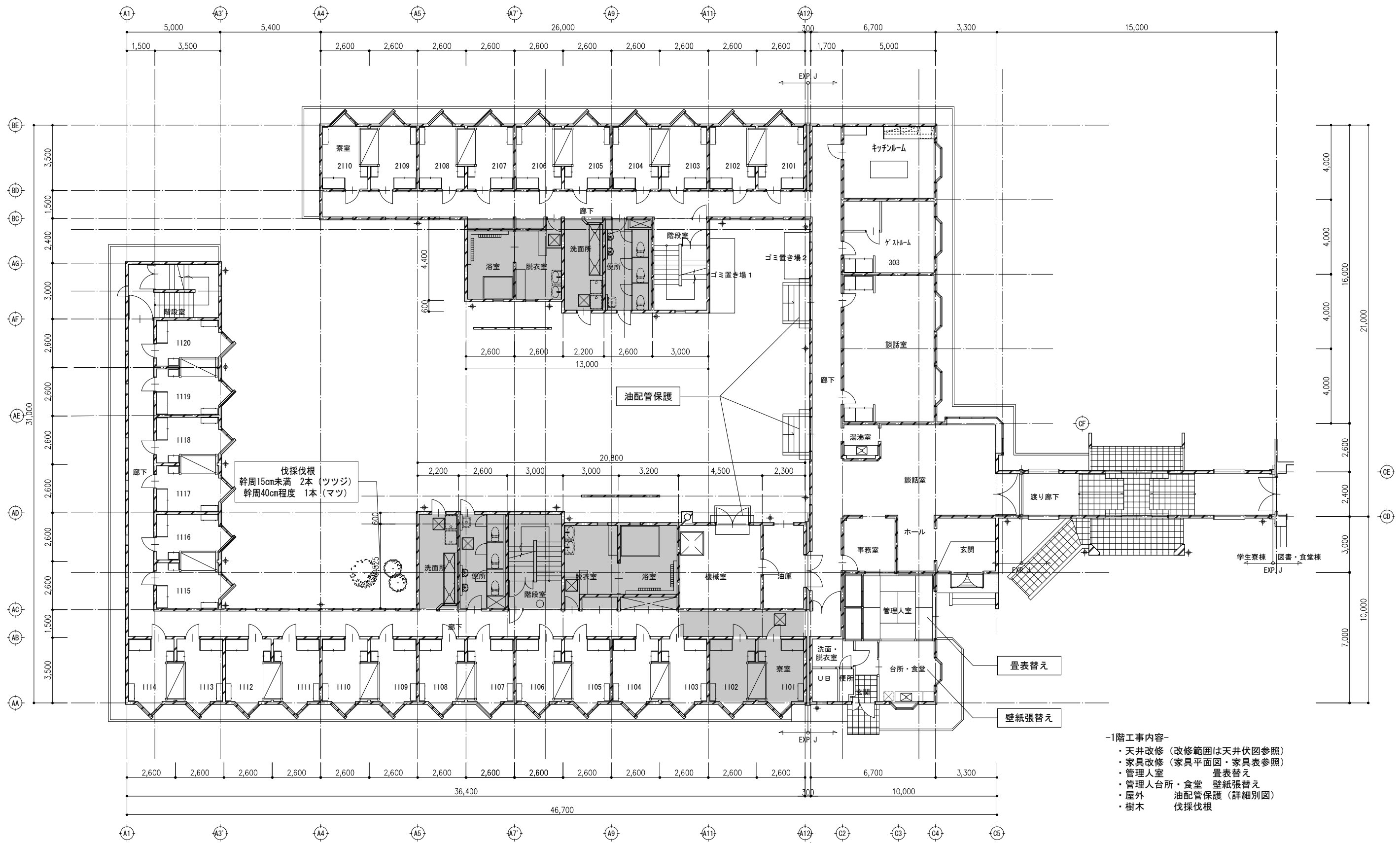
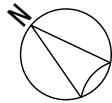


確認申請履歴					
年	(西暦)	内容	確認済証	検査済証	
平成元年	1989年	建設当初	第12-20号	平成 元年 3月 8日	
平成2年	1990年	車庫・物置・自転車置場	第13-7号	平成 2年 1月23日	
平成21年	2009年	エレベーター設置	第H21確認建築若手県000706号	平成21年 7月30日	
平成22年	2010年	樓梯廊下増築	第H22確認建築若手県000460号	平成22年 7月22日	
令和6年	2024年	自転車置場等改築	第R5確認建築限定宮古00046号	令和 6年 3月 6日	
			第R6確認建築限定宮古00004号	令和 6年 10月24日	
				第H21確認建築若手県001200号	平成21年 12月 8日
				第H22確認建築若手県000643号	平成22年 9月28日
				第R6確認建築限定宮古00023号	令和 6年 12月 13日

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防水改修</li> <li>・ 天井改修</li> <li>・ 家具改修</li> </ul> </li> <li>・ 建具改修</li> <li>・ 内装改修</li> <li>・ 屋外</li> <li>・ 樹木</li> <li>・ 室内環境測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修用ドレンキャップ撤去・新設（ストレーナー：アルミダイキャスト製）</li> <li>機械設備改修に伴う天井改修（範囲は天井伏図に図示）</li> <li>撤去・新設：洗面所流し台、管理人室キッチン、トイレライニング</li> <li>取外し再取付：居室可動棚</li> <li>撤去：湯沸室流し台</li> <li>3層便所シャフトスペース仕切用トイレブース 取り外し再取付</li> <li>管理人室：畳表替え、管理人台所食堂：ビニルクロス張替え</li> <li>寮室：ビニルクロス張替え（可動棚取り外し再取付箇所）</li> <li>油配管保護改修、既存ブラケット部補修</li> <li>伐採伐根</li> <li>管理人台所食堂、寮室の計2室</li> <li>ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン</li> <li>スチレン、パラジクロロベンゼン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電灯設備改修</li> <li>・ 火災報知設備改修</li> </ul> </li> <li>配線器具・照明器具改修</li> <li>感知器・発信機・表示灯・ベル改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房設備改修</li> <li>・ 給水設備改修</li> <li>・ 排水設備改修</li> <li>・ 給湯設備改修</li> </ul> </li> <li>エアコン・冷暖配管改修、FF暖房機撤去</li> <li>屋内給水配管改修</li> <li>屋内排水配管改修</li> <li>給湯配管改修、油配管改修</li> </ul>
--	---	---	--



	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
						図面内容 付近見取図・配置図	縮尺 A1 1:1000 A3 1:2000	図面区分 建築意匠
							図面番号 A-006	



既存 1階 平面図

-1階工事内容-

- ・天井改修 (改修範囲は天井伏図参照)
- ・家具改修 (家具平面図・家具表参照)
- ・管理人室 畳表替え
- ・管理人台所・食堂 壁紙張替え
- ・屋外 油配管保護 (詳細別図)
- ・樹木 伐採伐根

ビット範囲を示す。

特 記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号

工事名称

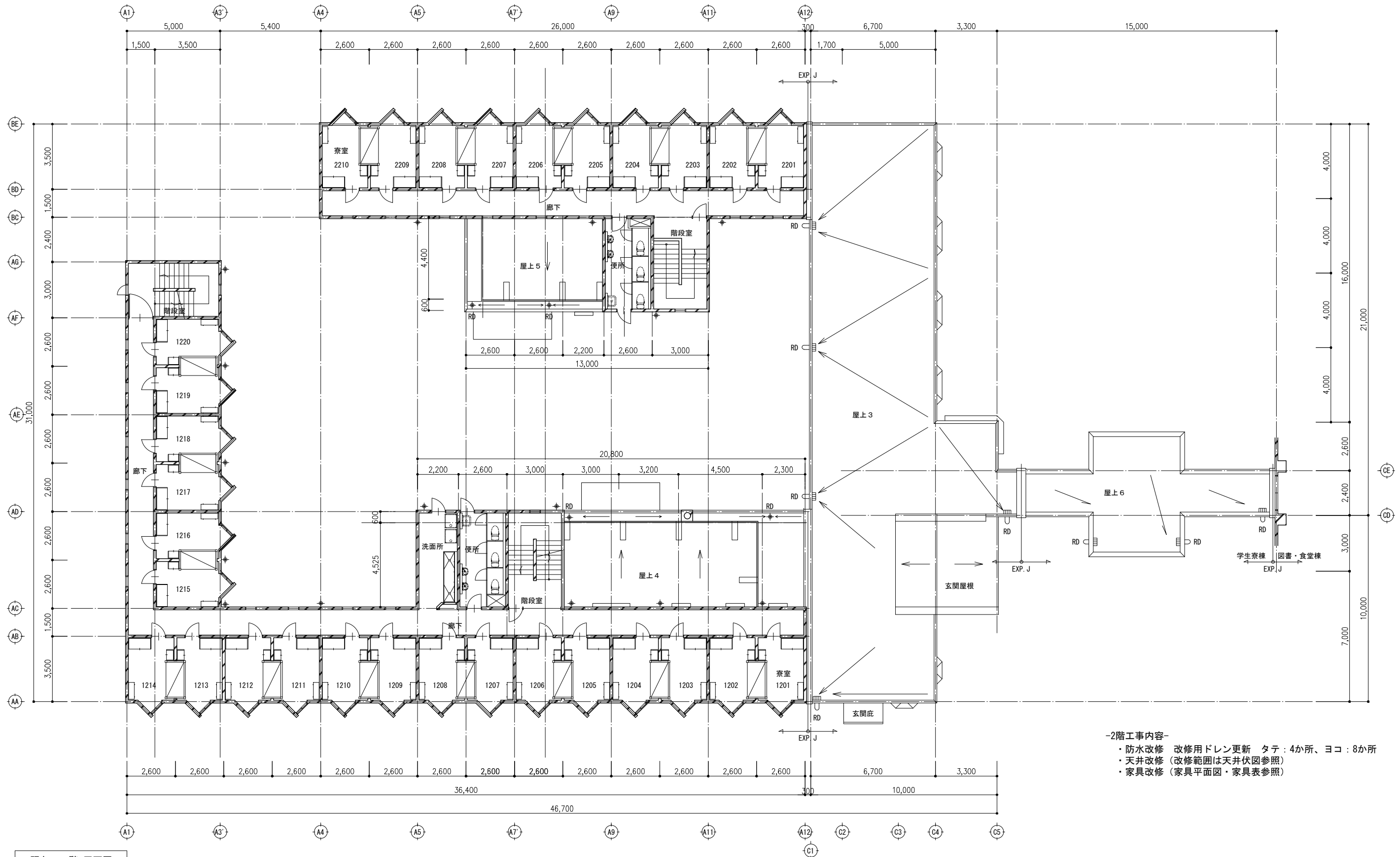
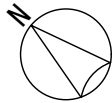
岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事

図面内容

1階 平面図

縮尺  
A1 1:100  
A3 1:200  
図面区分  
建築意匠  
図面番号  
A-007





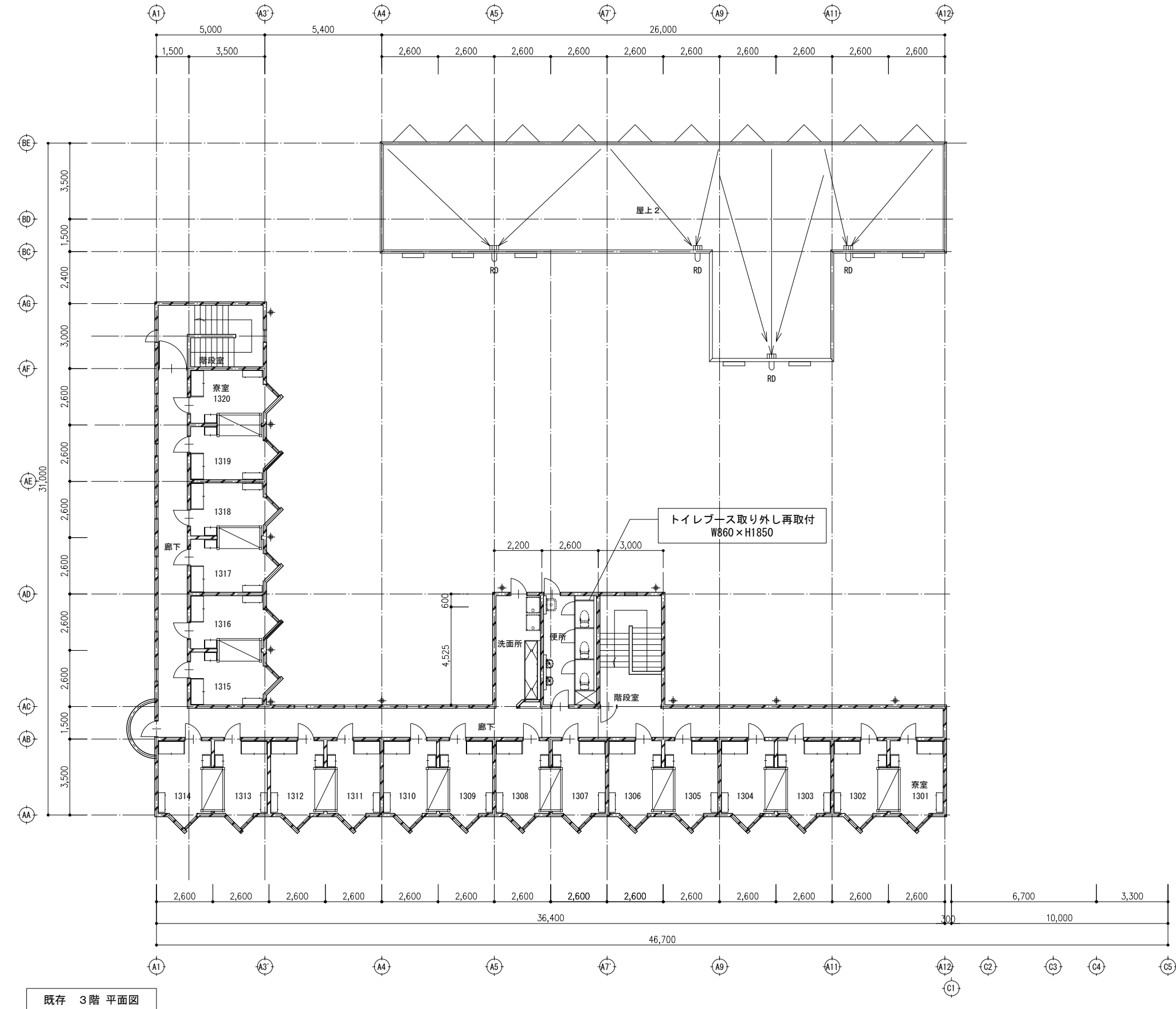
既存 2 階 平面図

- 2階工事内容-
- ・防水改修 改修用ドレン更新 タテ：4か所、ヨコ：8か所
  - ・天井改修（改修範囲は天井伏図参照）
  - ・家具改修（家具平面図・家具表参照）

特 記

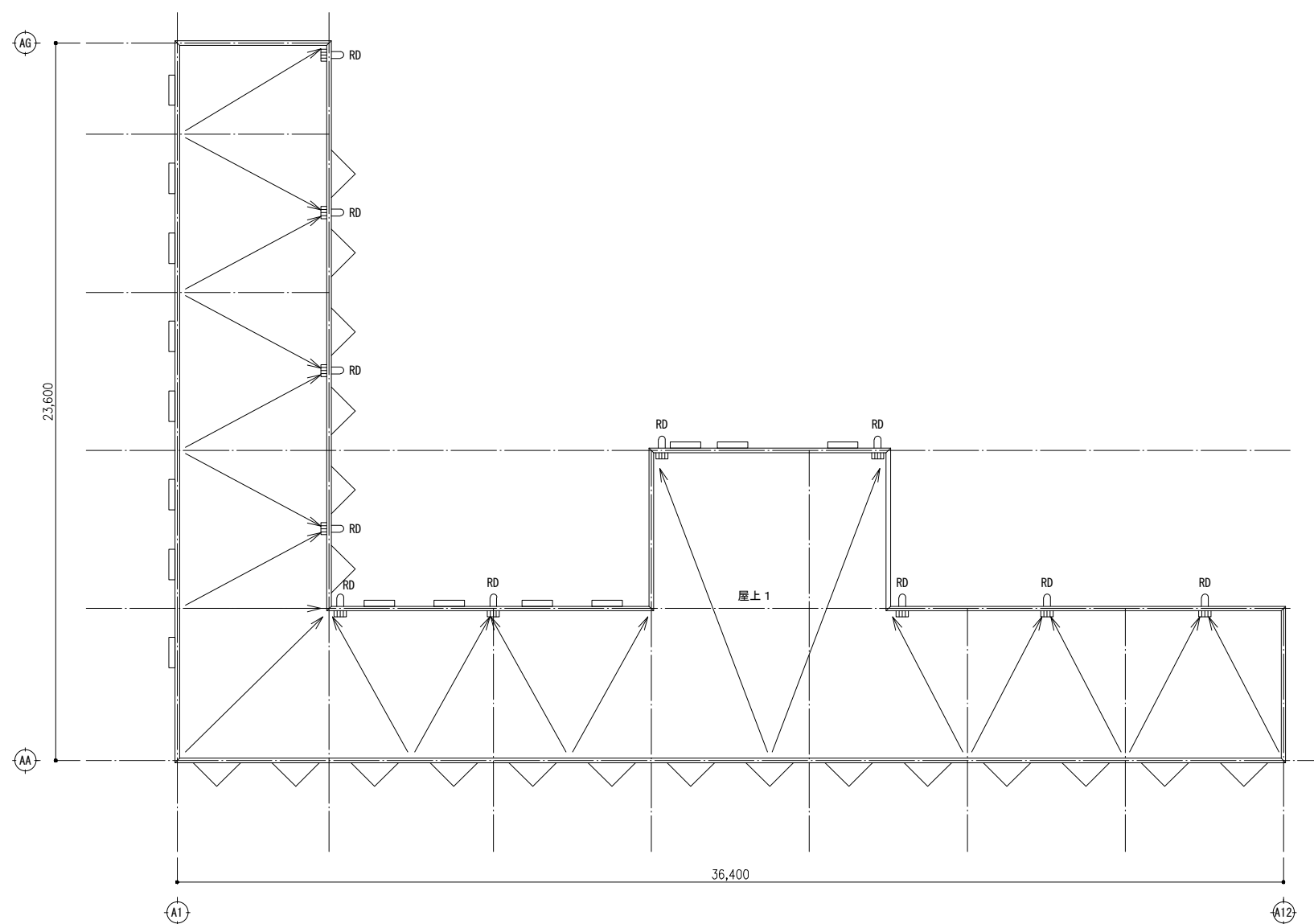
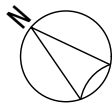
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
24096	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事
図面内容	縮尺
2 階 平面図	A1 1:100 A3 1:200
	図面区分 A-008



- ・防水改修 改修用ドレン更新 ヨコ：4か所
- ・天井改修（改修範囲は天井伏図参照）
- ・家具改修（家具平面図・家具表参照）
- ・建具改修 便所シャフトスペース仕切用トイレブース 取り外し再取付

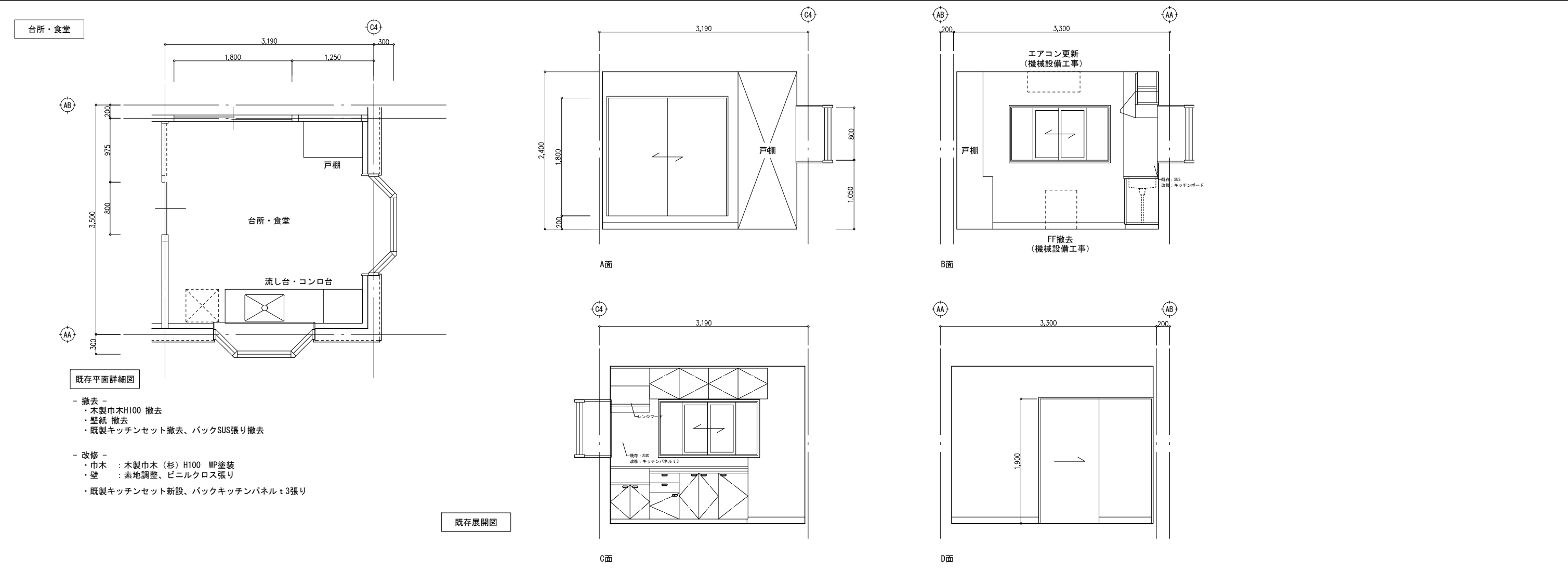
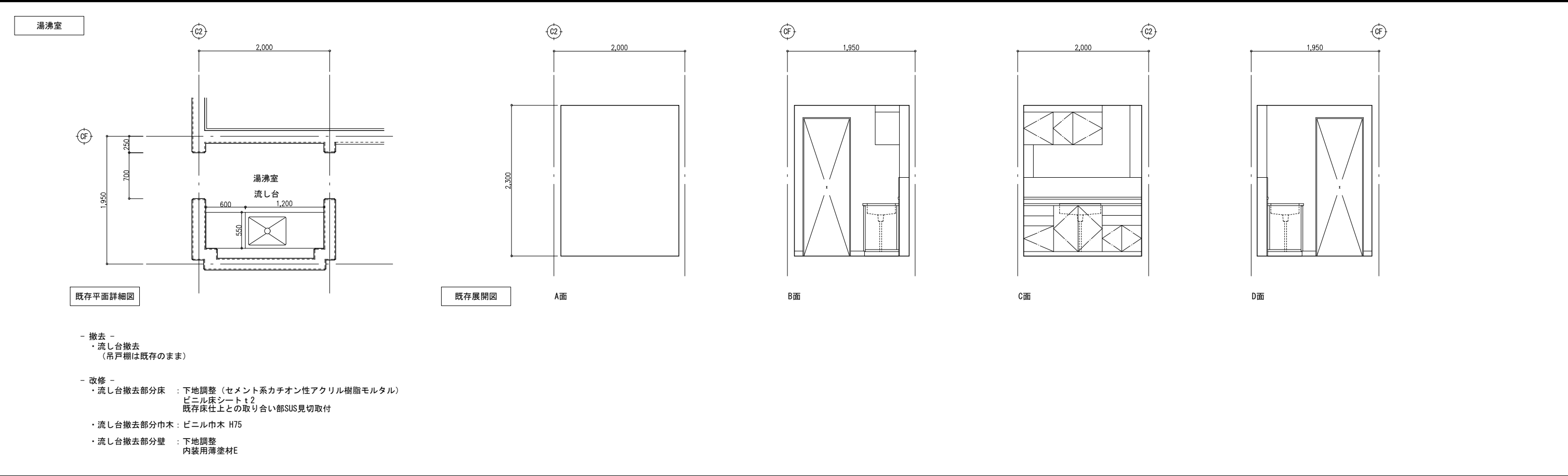
	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事
				図面内容	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 建築意匠
				3階 平面図		図面番号 A-009



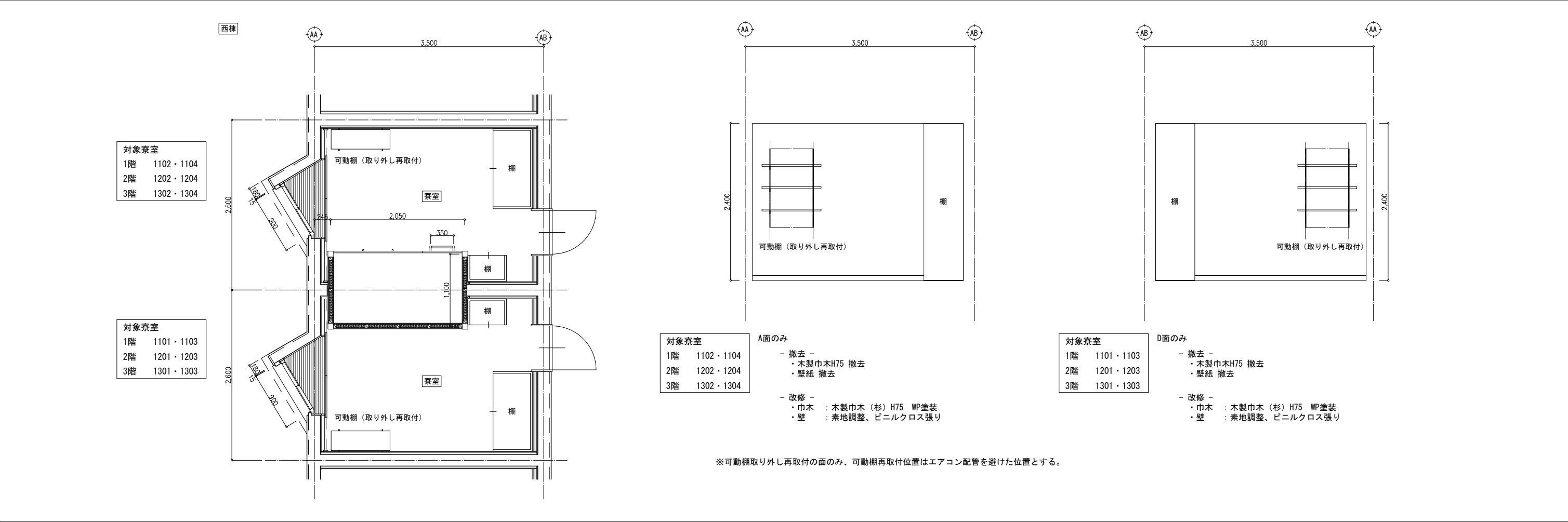
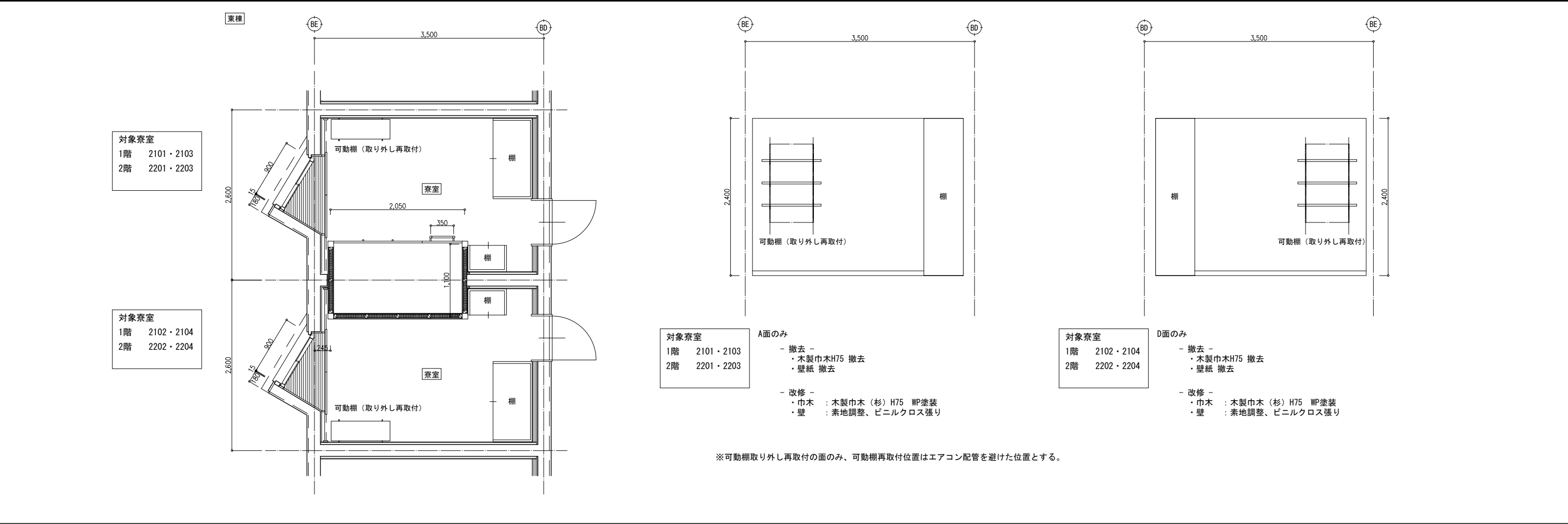
-屋根工事内容-  
・防水改修 改修用ドレン更新 ヨコ : 11か所

既存 R階 平面図

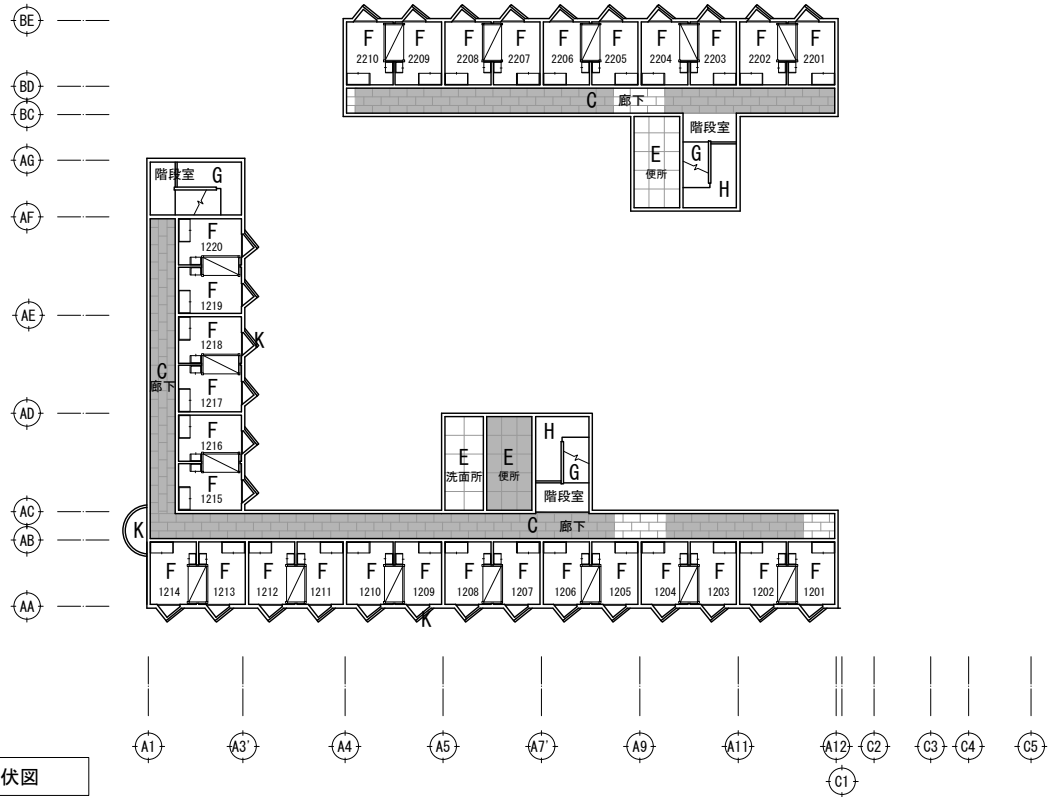
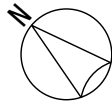
	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事	
						図面内容 屋根 平面図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200
							図面区分 建築意匠
							図面番号 A-010



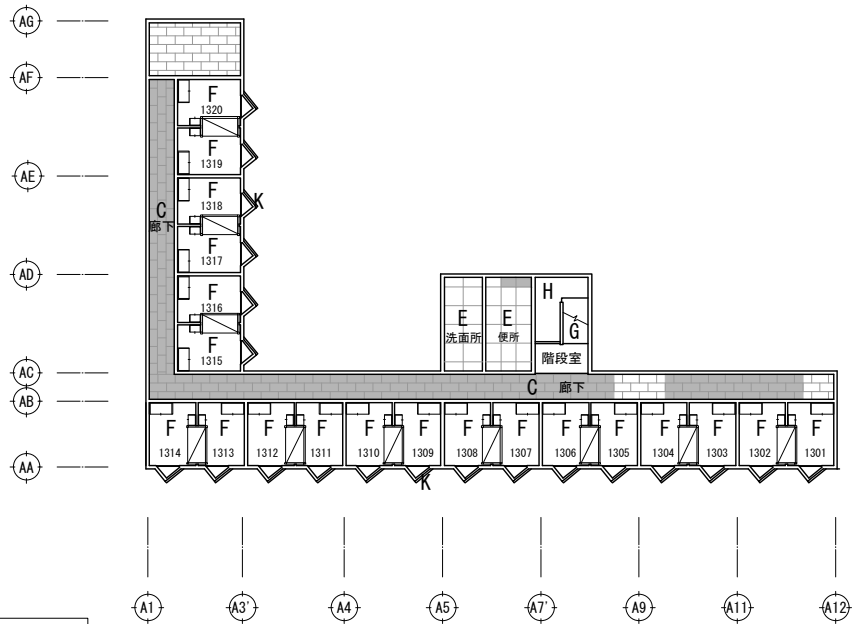
特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
					図面内容 平面詳細図・展開図 1		
					縮尺 A1 1:30 A3 1:60	図面区分 建築意匠	図面番号 A-011



	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
						図面内容 平面詳細図・展開図 2	縮尺 A1 1:30 A3 1:60	図面区分 建築意匠 図面番号 A-012

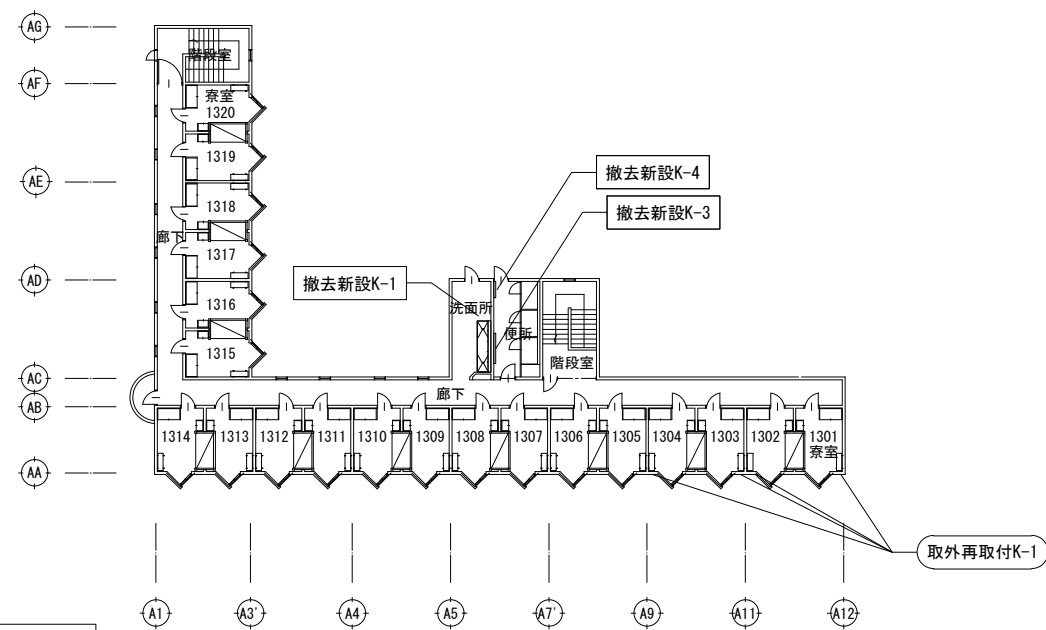
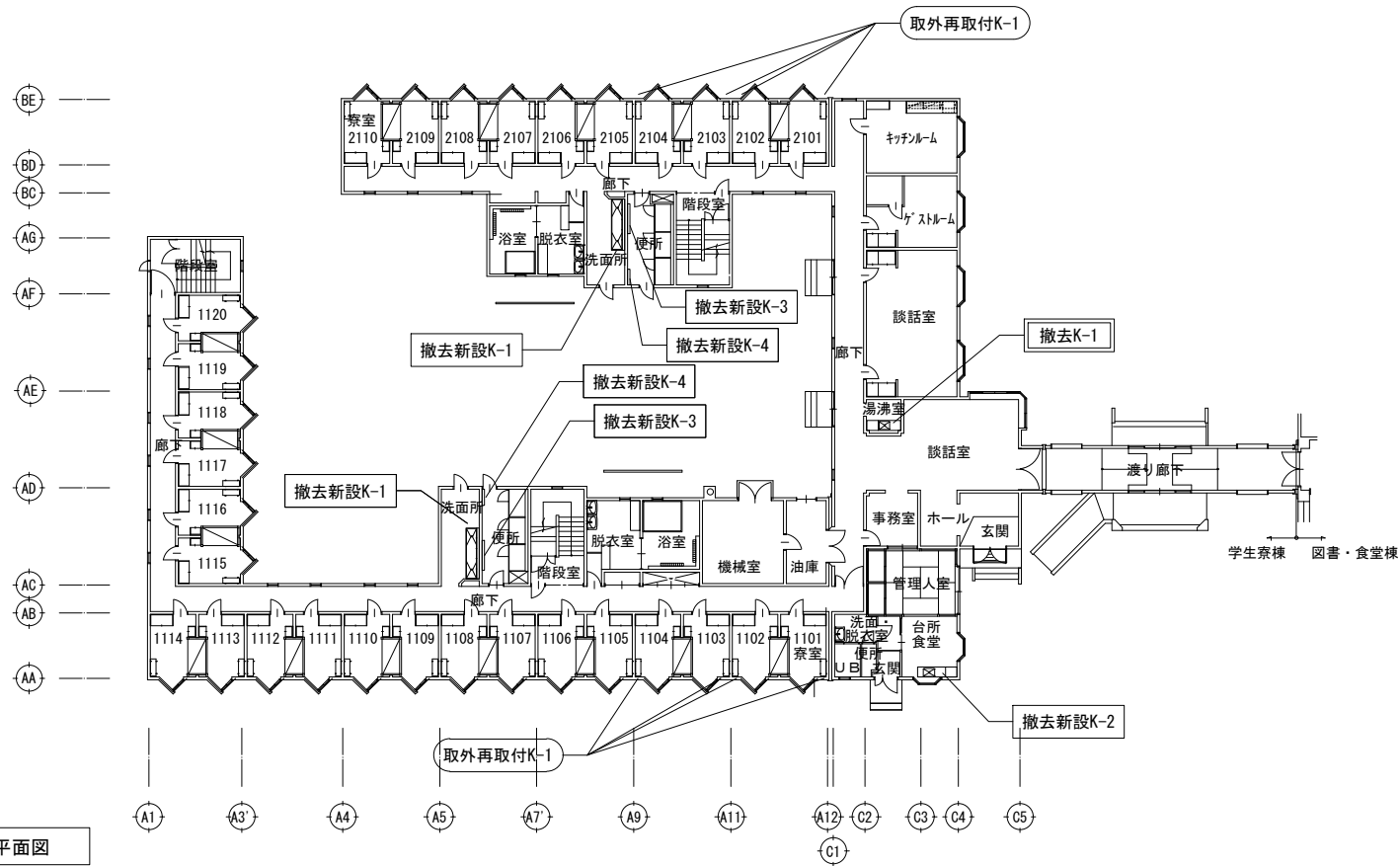
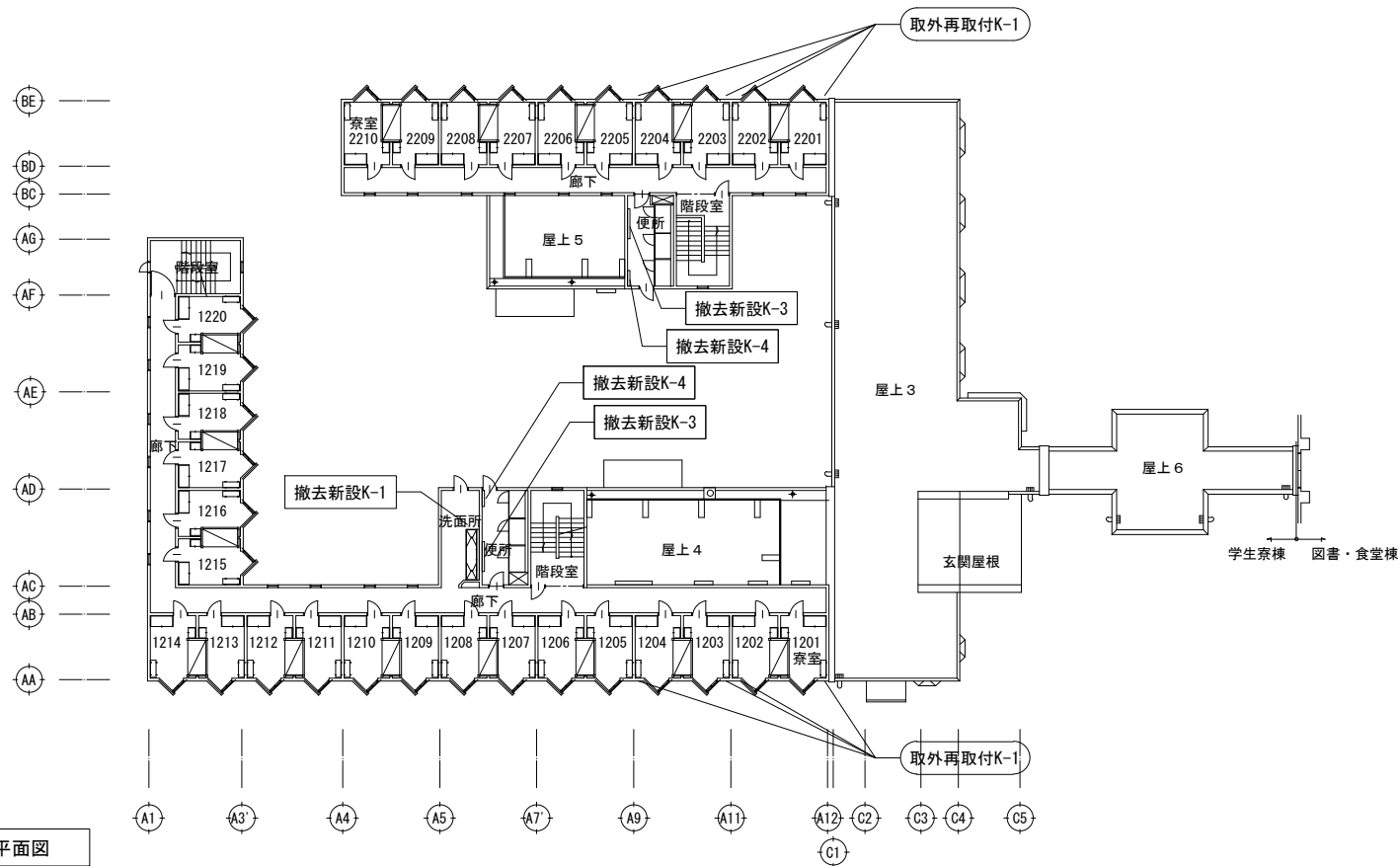
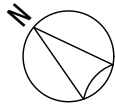


改修 有無	凡例 符号	下地・仕上	改修仕上
	A	LGS19下地 石膏ボード t 9 捨貼 岩綿吸音板 t 19 勾配貼 接着併用	
	B	LGS19下地 石膏ボード t 9 捨貼 岩綿吸音板 t 9 接着併用	
○	C	LGS19下地 化粧石膏ボード t 9 直貼	化粧石膏ボード t 9.5
	D	LGS19下地 杉化粧石膏ボード 目スカシ貼	
○	E	LGS19下地 フレキシブルボード t 6 目スカシ貼 V.P(3)	ケイ酸カルシウム板 t 6 目透かし貼、EP
	F	LGS19下地 化粧石膏ボード t 9 直貼、ベッド廻り 石膏ボード t 12 直貼下地 ビニルクロス貼	
	G	段裏 コンクリート打放シ補修 ダイヤソフト吹付	
	H	段裏 コンクリート打放シ補修 V.P(3)	
	I	LGS19下地 バスリブ広巾(桧柱) t 9	
	J	木野縁 耐水ベニヤ t 5.5下地 外装用化粧銘木合板(ピーリング)	
	K	コンクリート打放シ補修下地 弾性アクリル系リシン吹付	
	L	無機質常温発泡断熱材吹付仕上	
	M	硬質ガラスウール t 50 (64kg/m <sup>3</sup> ガラスメッシュ抑え) 断熱ピン止め(ソノボードS程度)	
		改修範囲を示す。撤去・LGS下地不陸調整の上、上記記載の仕上にて改修 1階 西側便所、東側便所、廊下 2階 西側便所 3階 西側便所 (一部)	



	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事 図面内容 天井伏図	縮尺 A1 1:200 A3 1:400	図面 区分 番号 A-013	建築意匠

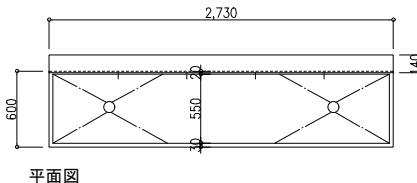


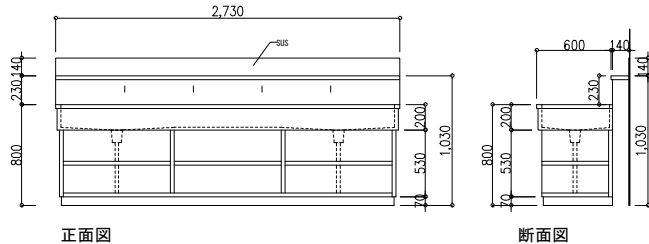


	特 記	改訂番号		改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
							図面内容 家具平面図	縮尺 A1 1:200 A3 1:400	図面区分 建築意匠 図面番号 A-014

符号	撤去新設K-1
数量	4
位置	洗面所
名称	流し台
特記	撤去・新設

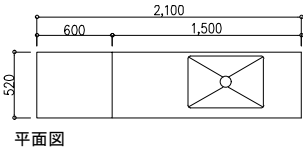
本体 両面メラミン化粧パーティクルボード t 20  
小口 塩ビシート t 0.45張り  
流し台 SUS t 1.0加工

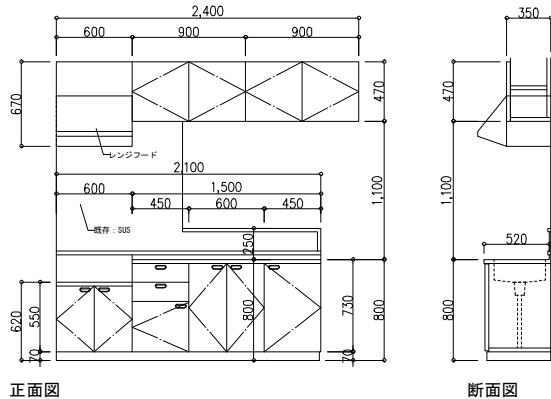




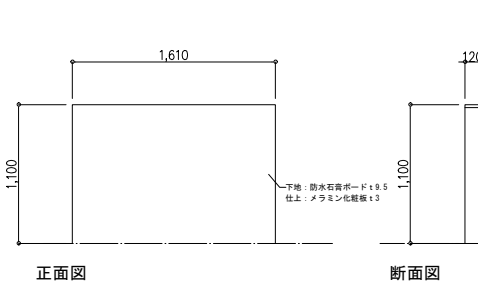
符号	撤去新設K-2
数量	1
位置	台所食堂
名称	既製キッチンセット
特記	撤去・新設

既製流し台 L1500+600

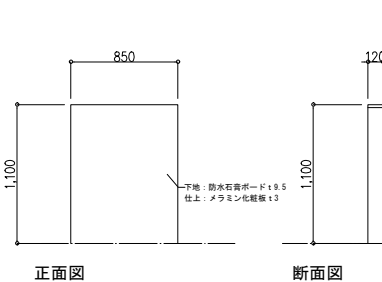




符号	撤去新設K-3
数量	5
位置	便所
名称	ライニングバック
特記	撤去・新設 撤去：膳板なし 新設：メラミンポストフォーム t 20 小口メラミン化粧板

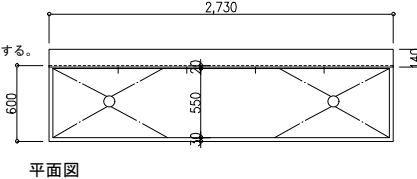


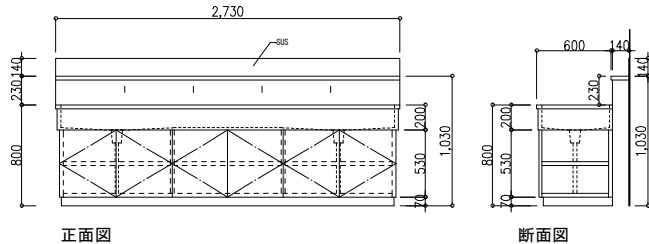
符号	撤去新設K-4
数量	5
位置	便所
名称	ライニングバック
特記	撤去・新設 撤去：膳板なし 新設：メラミンポストフォーム t 20 小口メラミン化粧板



符号	新設
本体	両面メラミン化粧パーティクルボード t 20
小口	塩ビシート t 0.45張り
流し台	SUS t 1.0加工、シンク裏消音材張り
扉	両面メラミン化粧パーティクルボード t 20、スライド丁番、SUS取手

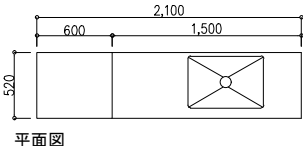
使用するステンレスはSUS304  
水栓金具・給排水接続は機械設備工事  
仕上・下地・塗料・接着剤及は全て規制対象外建材F☆☆☆☆を使用する。

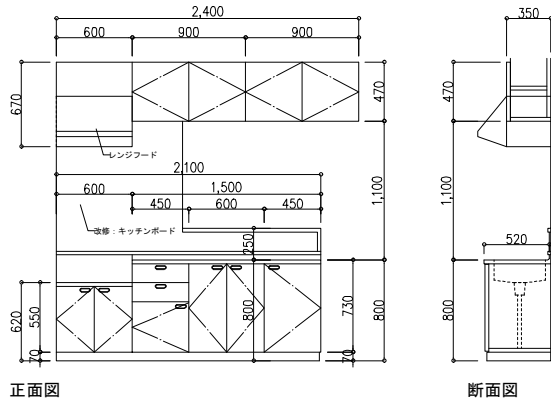




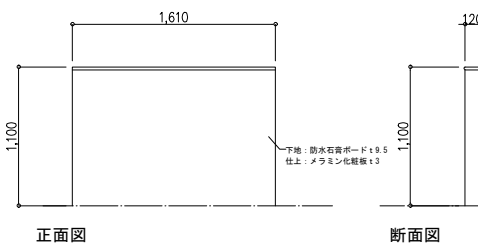
符号	新設
LIXIL GKシリーズ同等	
流し台1500・コンロ台600	
吊戸棚900×2	
レンジフード シロッコファン	
水栓 シングルレバー混合栓	
バック 既存：SUS張り 改修：キッチンパネル	

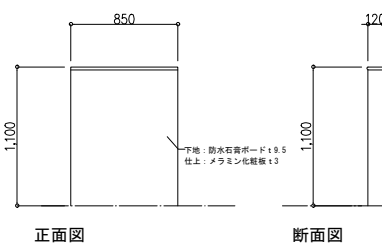
給排水接続 機械設備工事





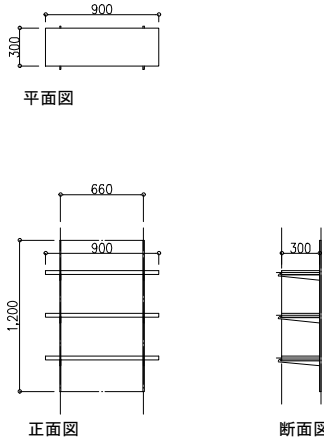
符号	新設
符号	新設
符号	新設
符号	新設



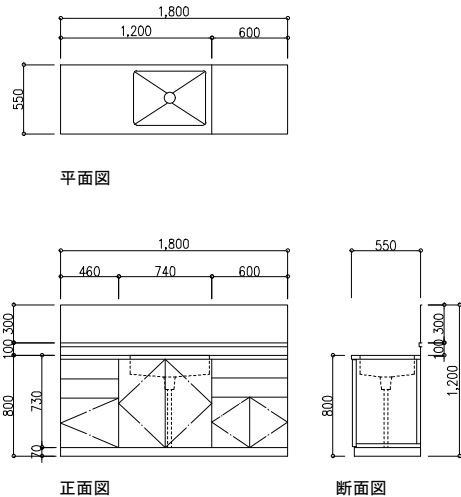


符号	取外再取付K-1
数量	20
位置	寮室
名称	可動棚
特記	取り外し再取付 エアコン配管を避けた 位置へ取付とする

対象寮室  
1階 1101・1102・1103・1104  
2101・2102・2103・2104  
2階 1201・1202・1203・1204  
2201・2202・2203・2204  
3階 1301・1302・1303・1304



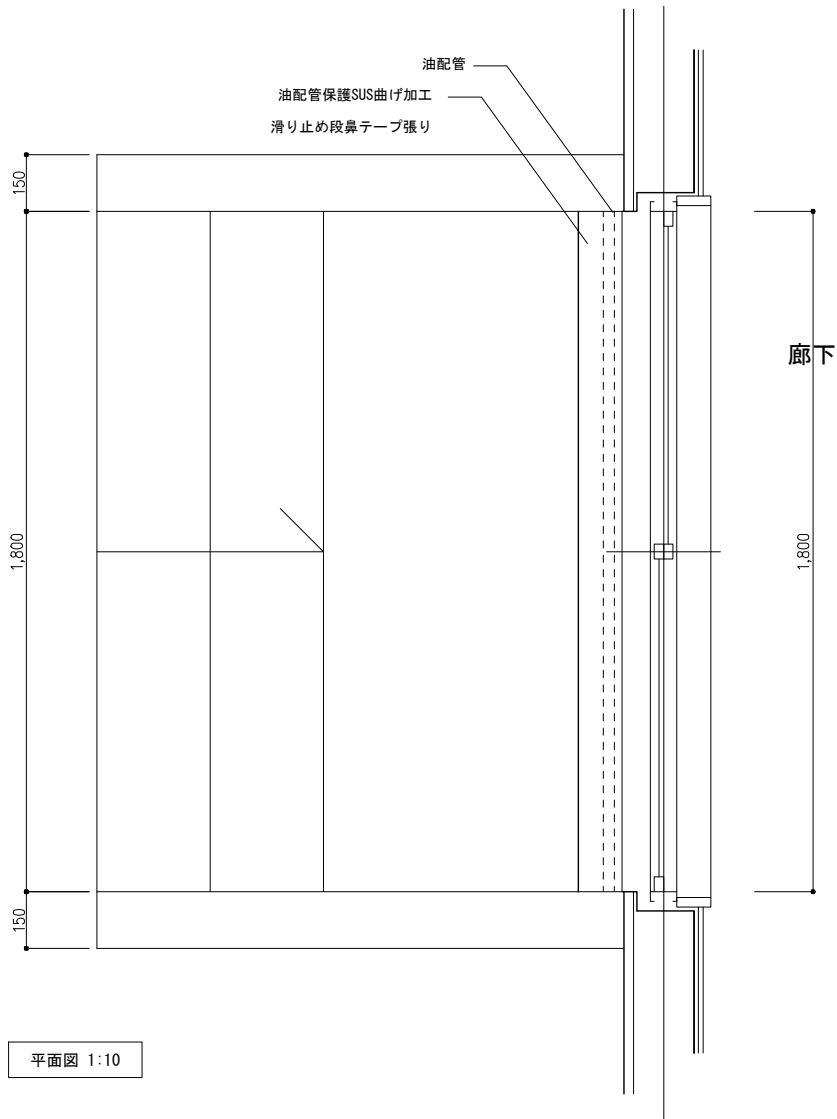
符号	撤去K-1
数量	1
位置	湯沸室
名称	既製流し台・コンロ台
特記	撤去



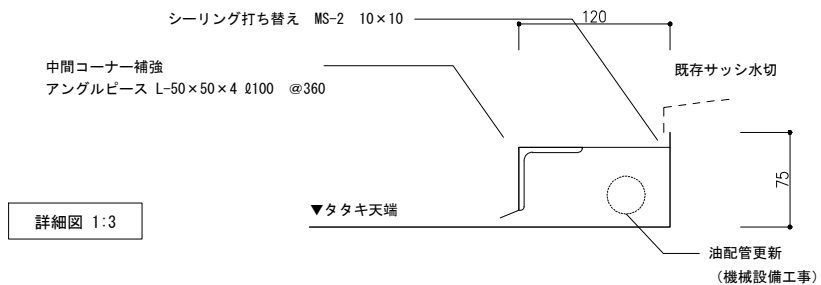
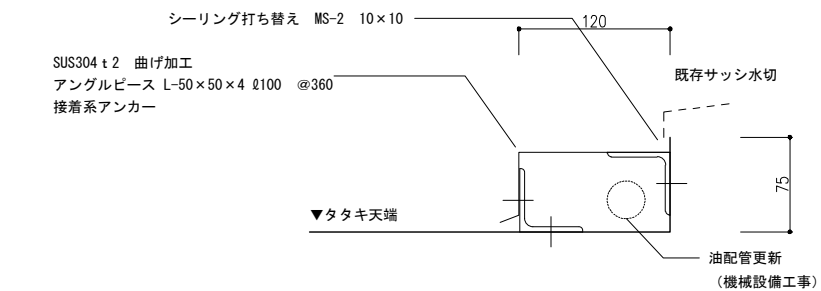
特 記	改訂番号		改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事	
図面内容					縮尺	図面区分	建築意匠
家具詳細図					A1 1:30	図面番号	A-015
					A3 1:60		

油配管保護廊下側 2か所

C1



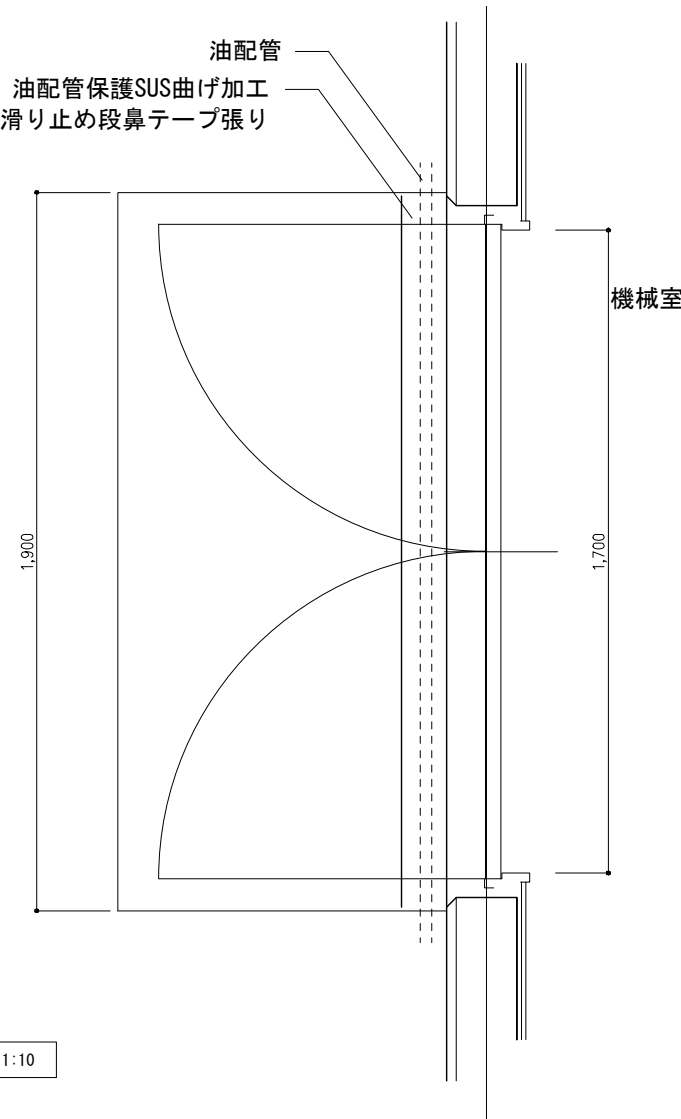
平面図 1:10



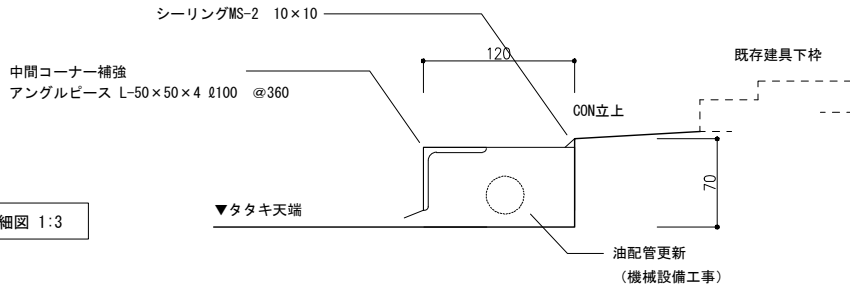
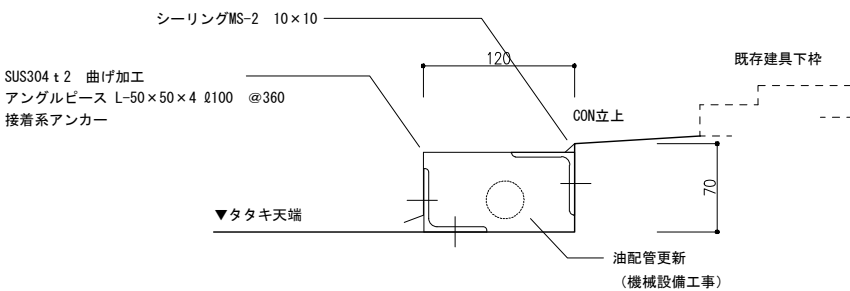
詳細図 1:3

油配管保護機械室側 1か所

AD -600

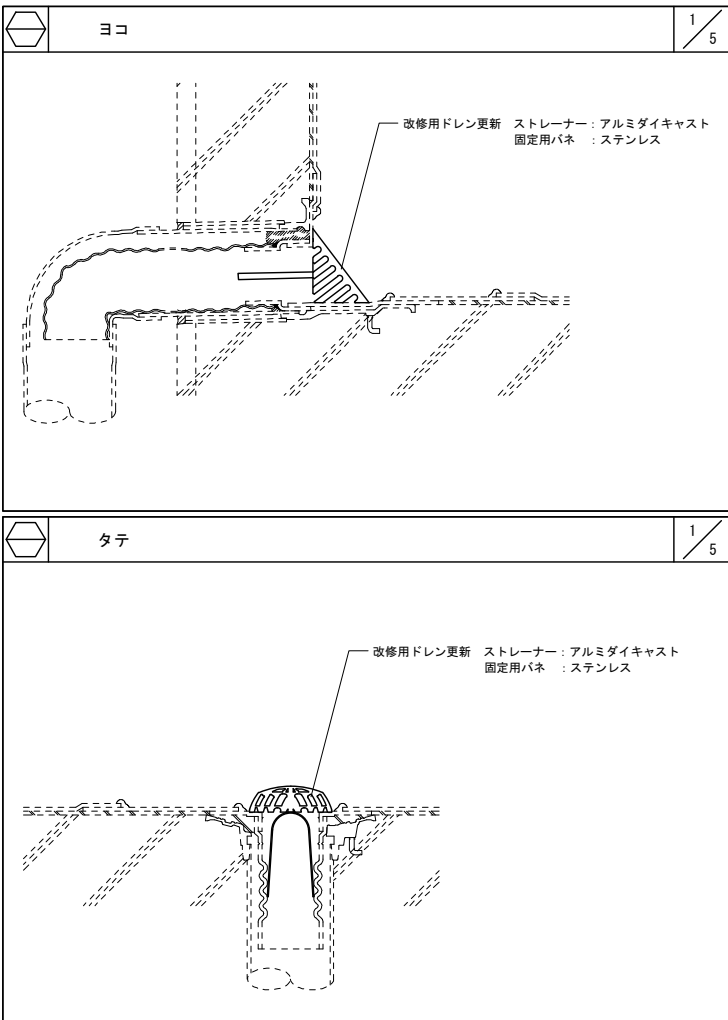


平面図 1:10



詳細図 1:3

改修用ドレン

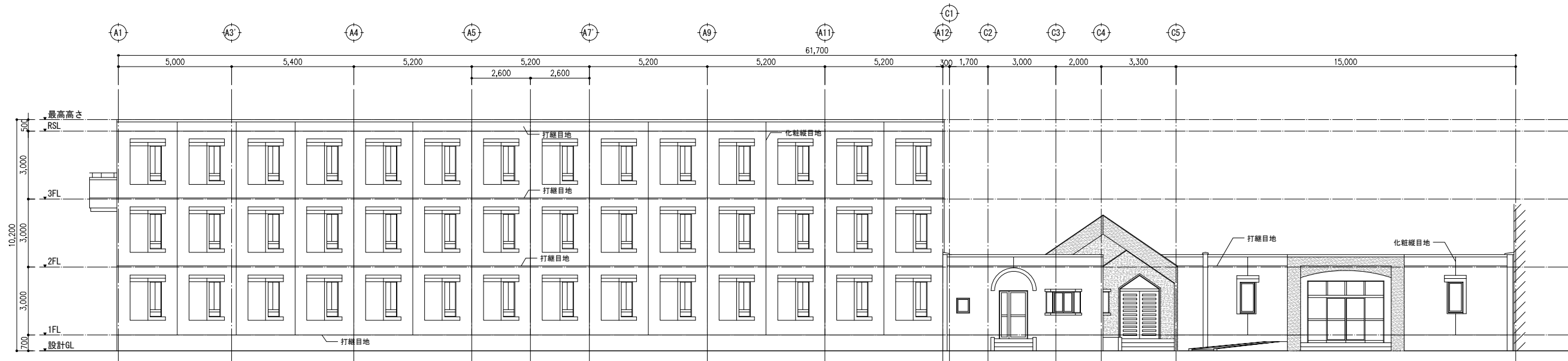


特 記	

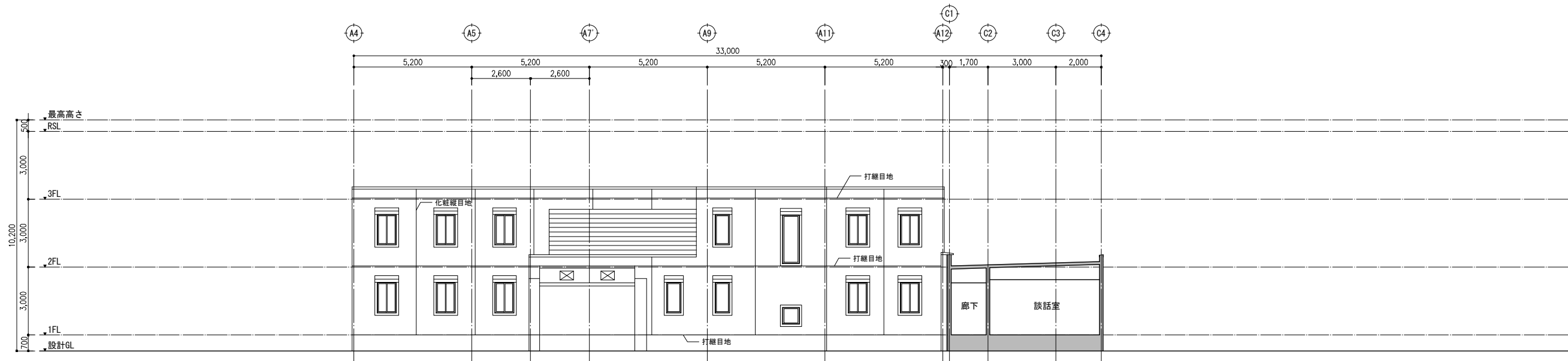
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称		
	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
24096	図面内容	縮尺	図面区分
		A1 1:10 A3 1:20	建築意匠 A-016
	油配管保護・改修用ドレン 詳細図		

既存 西立面図 (1)



既存 西立面図 (2)

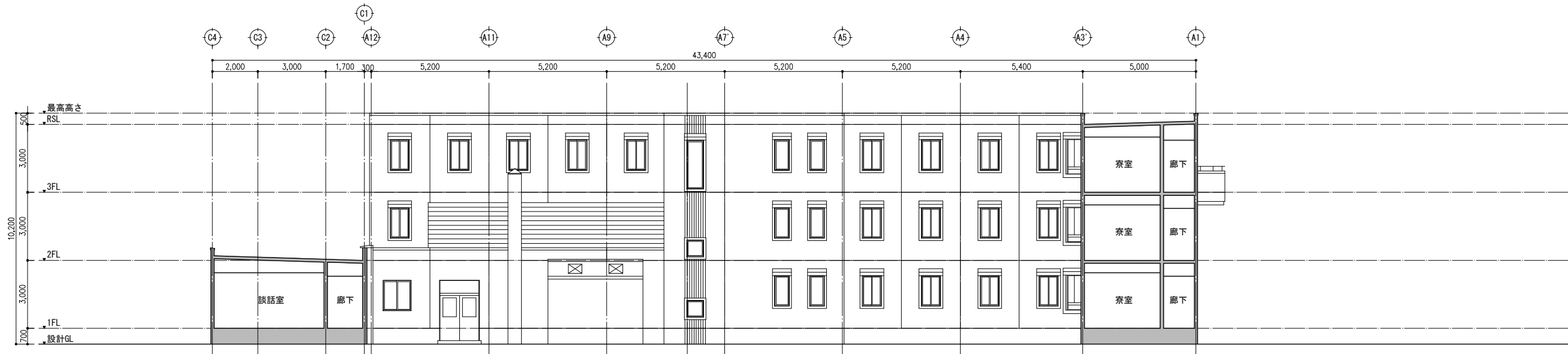


既存 東立面図 (1)



特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事 図面内容 (参考図) 立面図 1	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 建築意匠 図面番号 A-017

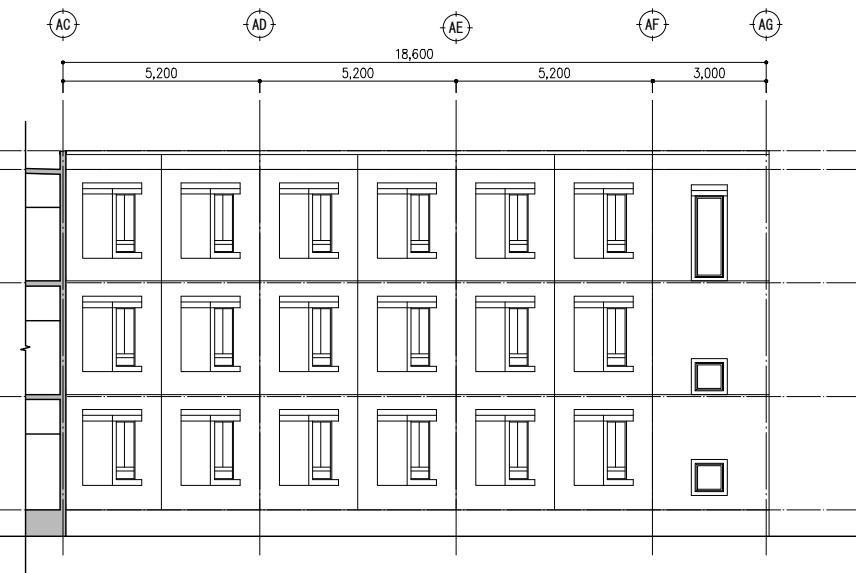
既存 東立面図 (2)



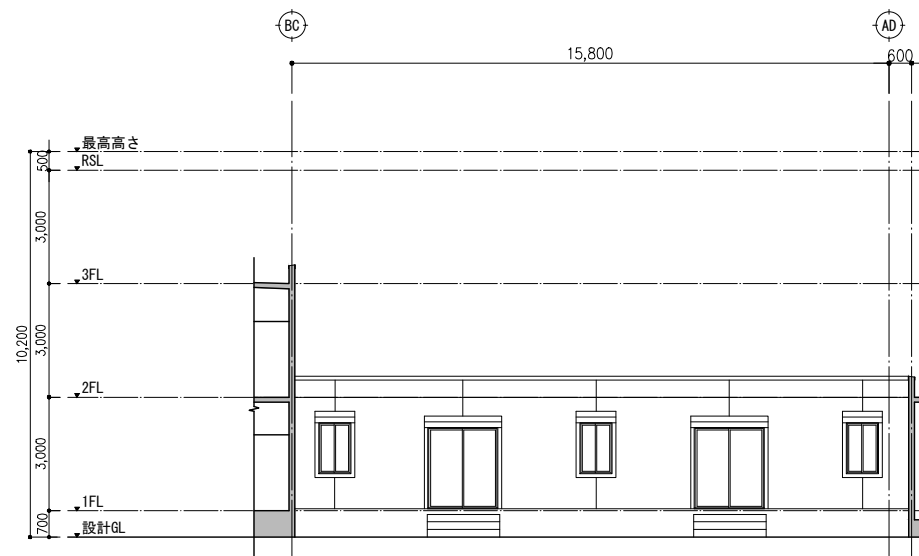
既存 南立面図 (1)



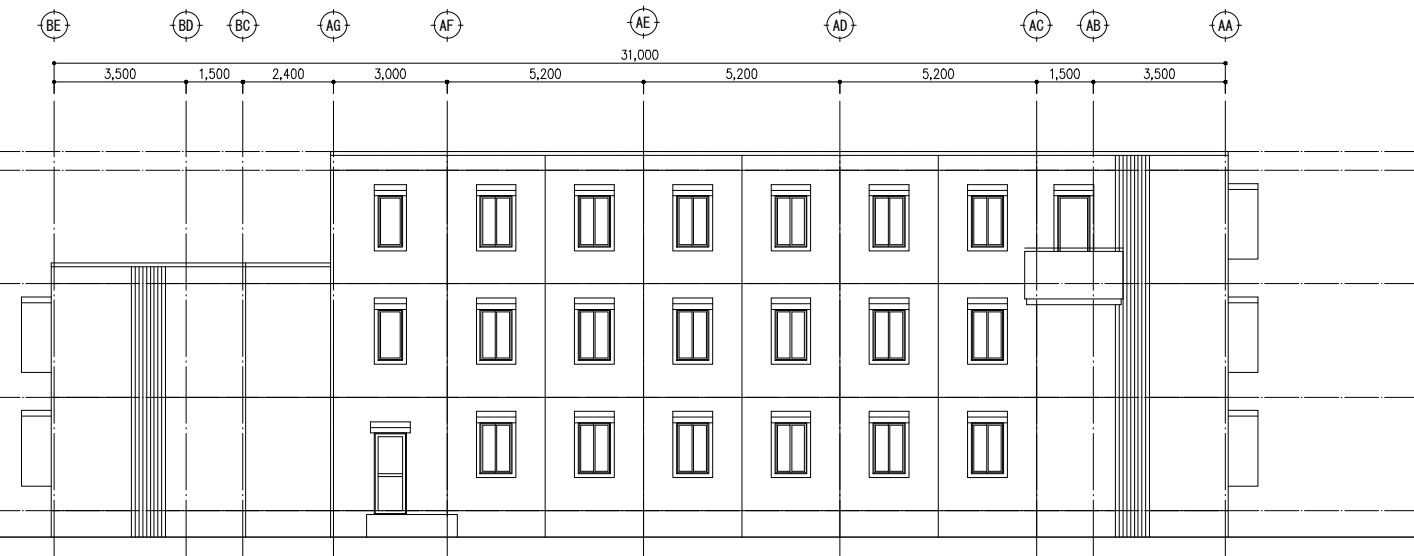
既存 南立面図 (2)



既存 北立面図 (1)



既存 北立面図 (2)



特 記		

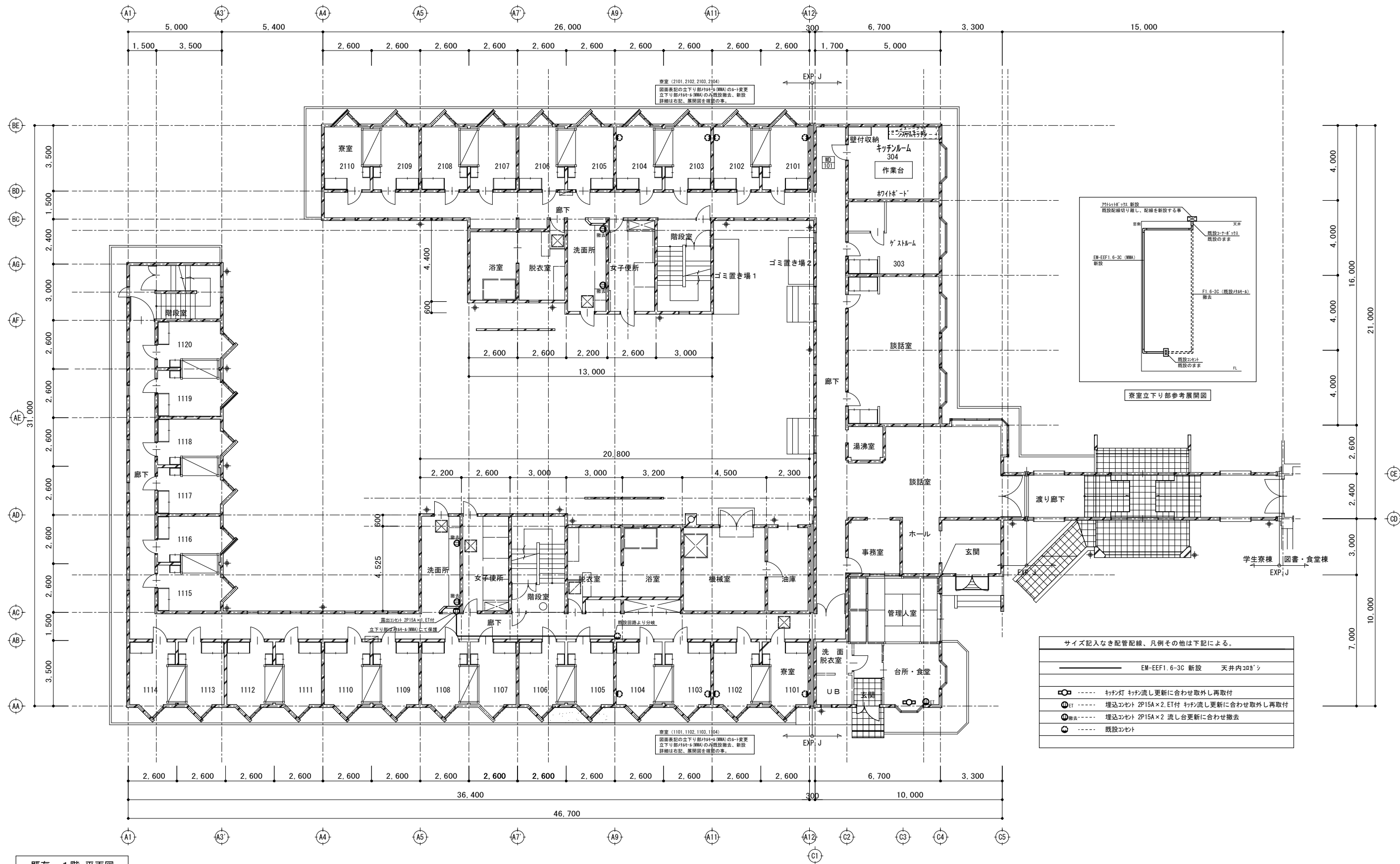
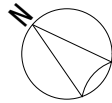
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事	
	図面内容 (参考図) 立面図 2	
	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 建築意匠 図面番号 A-018



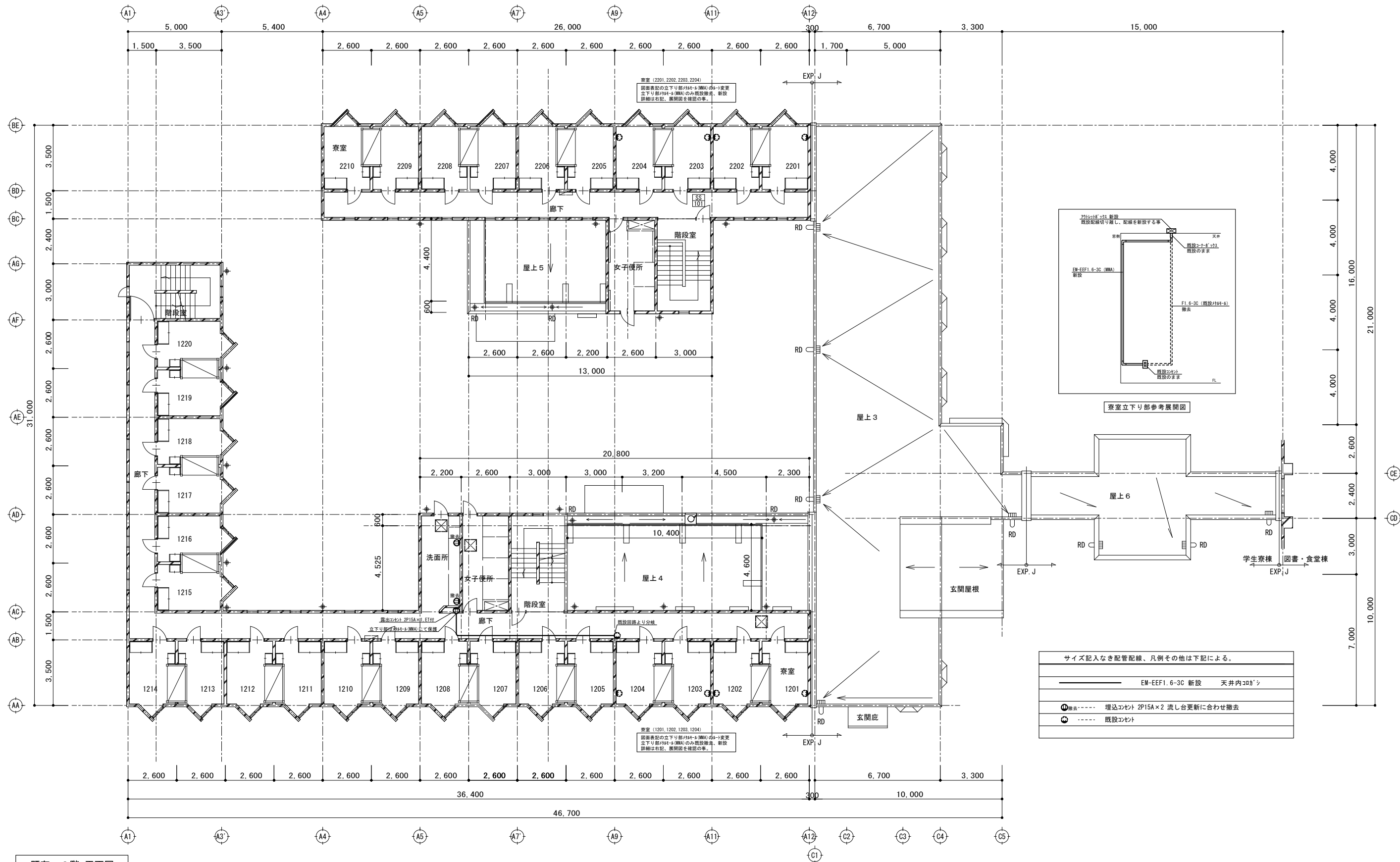
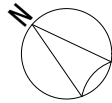






既存 1階 平面図

特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事 図面内容 (既存) 電灯設備 1階 平面図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 電気設備	図面番号 E-02

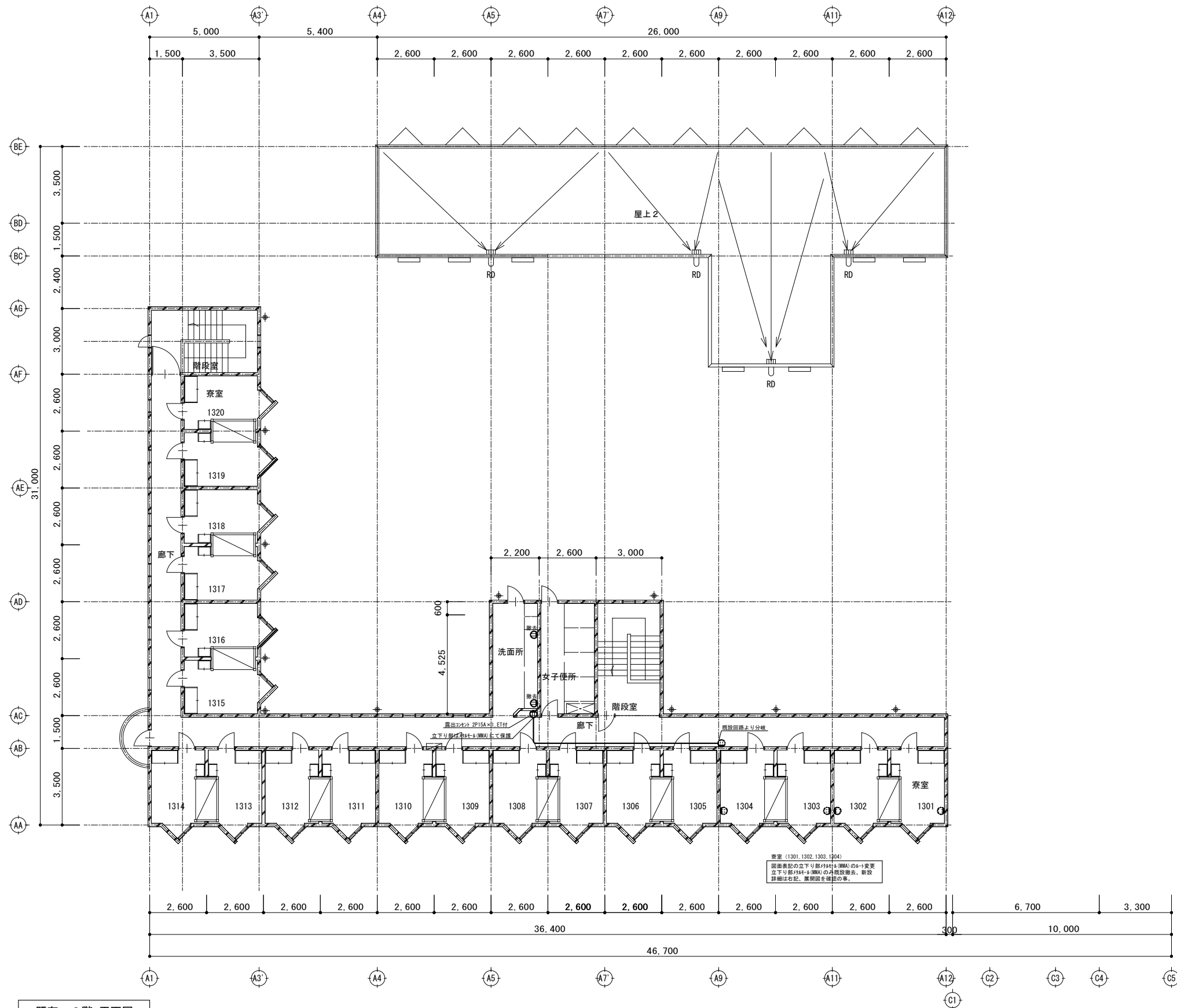


既存 2階 平面図

特 記		

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称			
	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事			
24096	図面内容		縮尺	図面区分
	(既存) 電灯設備 2階 平面図		A1 1:100 A3 1:200	電気設備 E-03



2721614・721 新設  
既設配線切り離し、配線を新設する事

天井

既設2+8・721  
既設のまま

既設  
F1 6・30 (MM)  
新設

F1 6・30 (既設2721-6)  
撤去

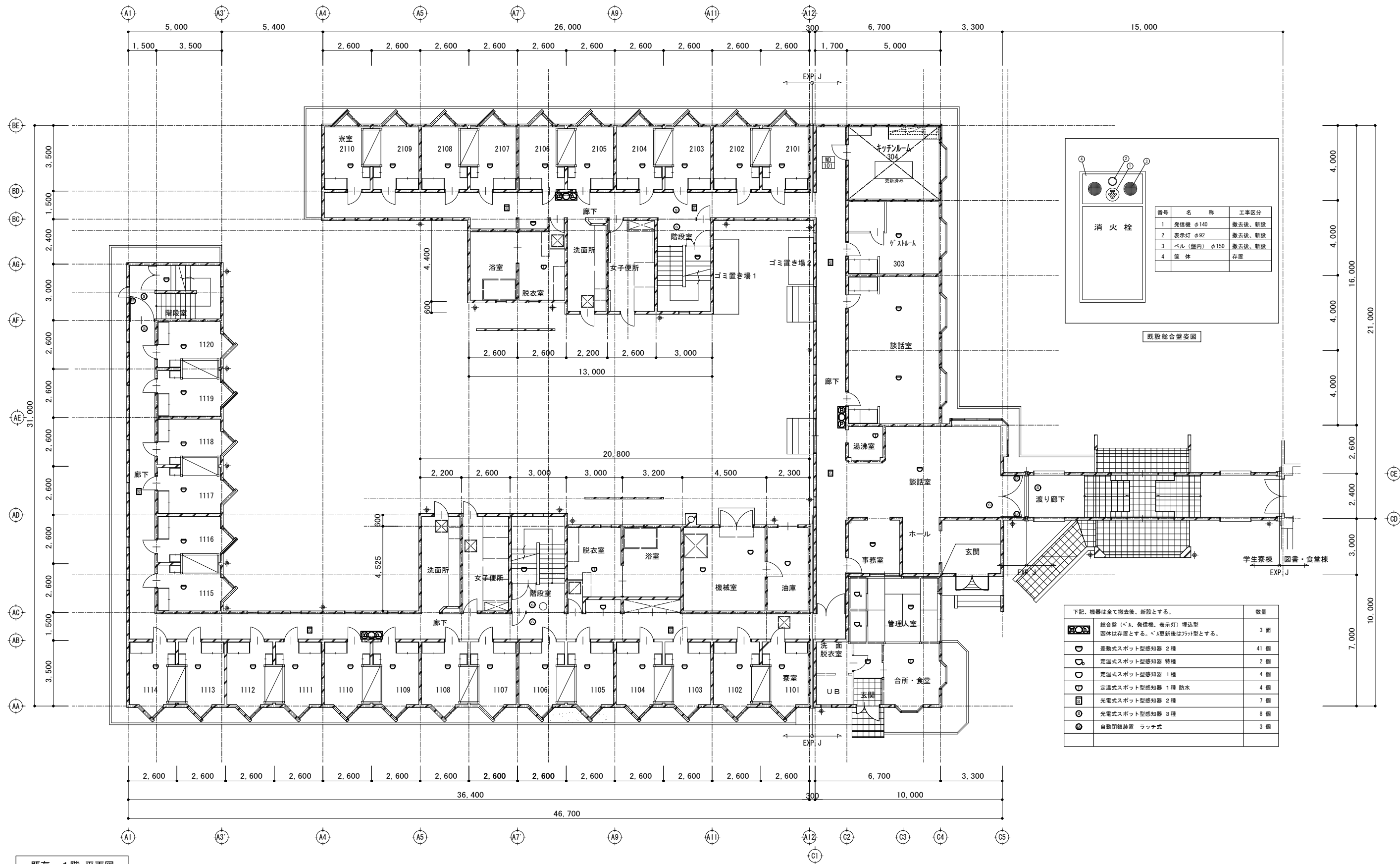
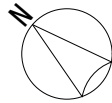
既設2721-6  
既設のまま

FL

教室立下部参考展開図

サイズ記入なき配管配線、凡例その他は下記による。	
_____	EM-EEF1.6-3C 新設 天井内コウダシ
① 埋込_____	埋込コンセント 2P15A×2 流し台更新に合わせ撤去
② 既設_____	既設コンセント

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事			
						図面内容 (既存) 電灯設備 3階 平面図	縮尺	図面区分	電気設備
							A1 1:100	図面番号	E-04
							A3 1:200		

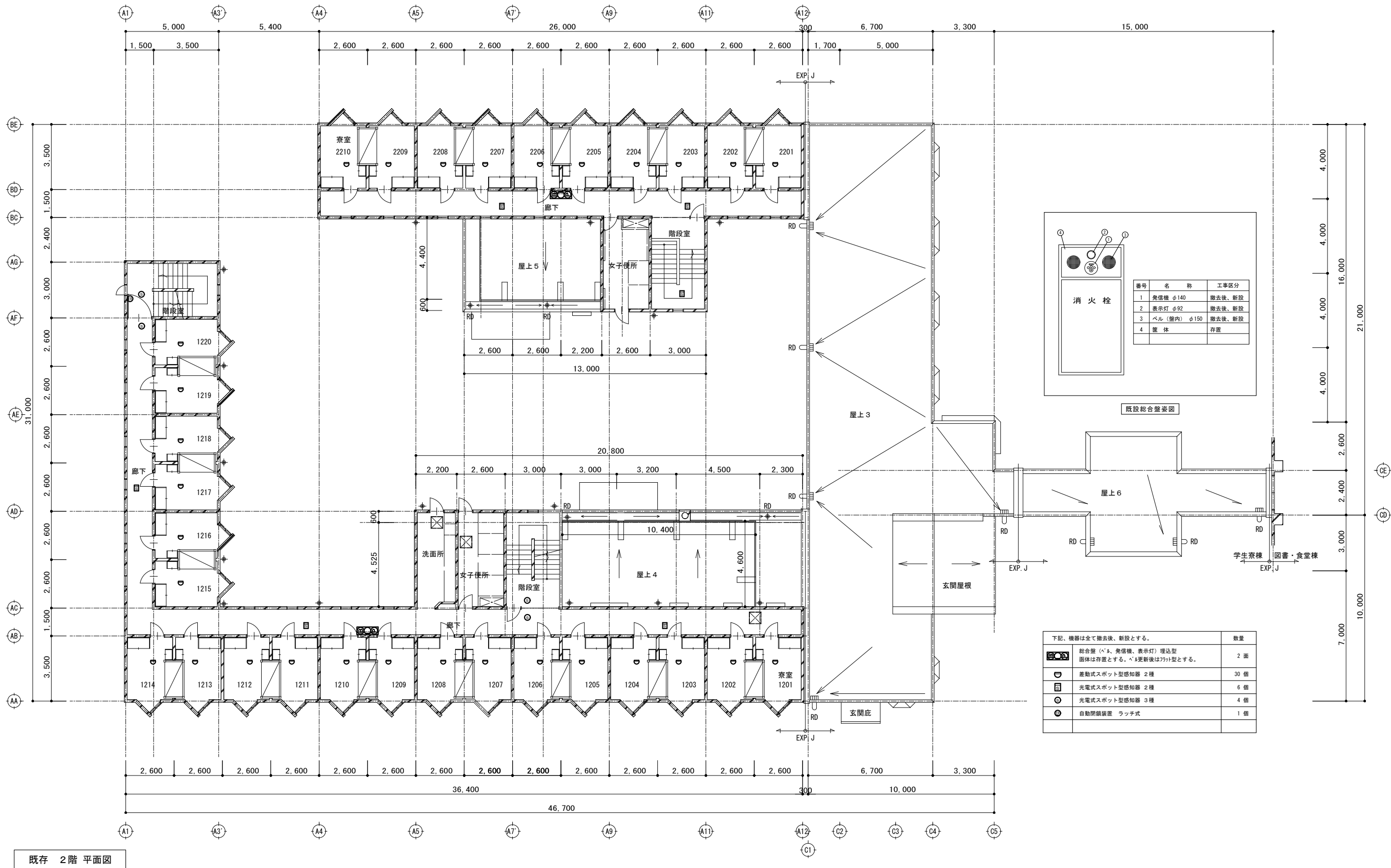
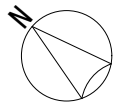


既存 1階 平面図

特 記		

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称	
	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事	
図面内容	(既存) 自動火災報知設備 1階 平面図	
	縮尺	図面区分
A1 1:100		電気設備
A3 1:200		図面番号 E-05



既存 2階 平面図

特 記

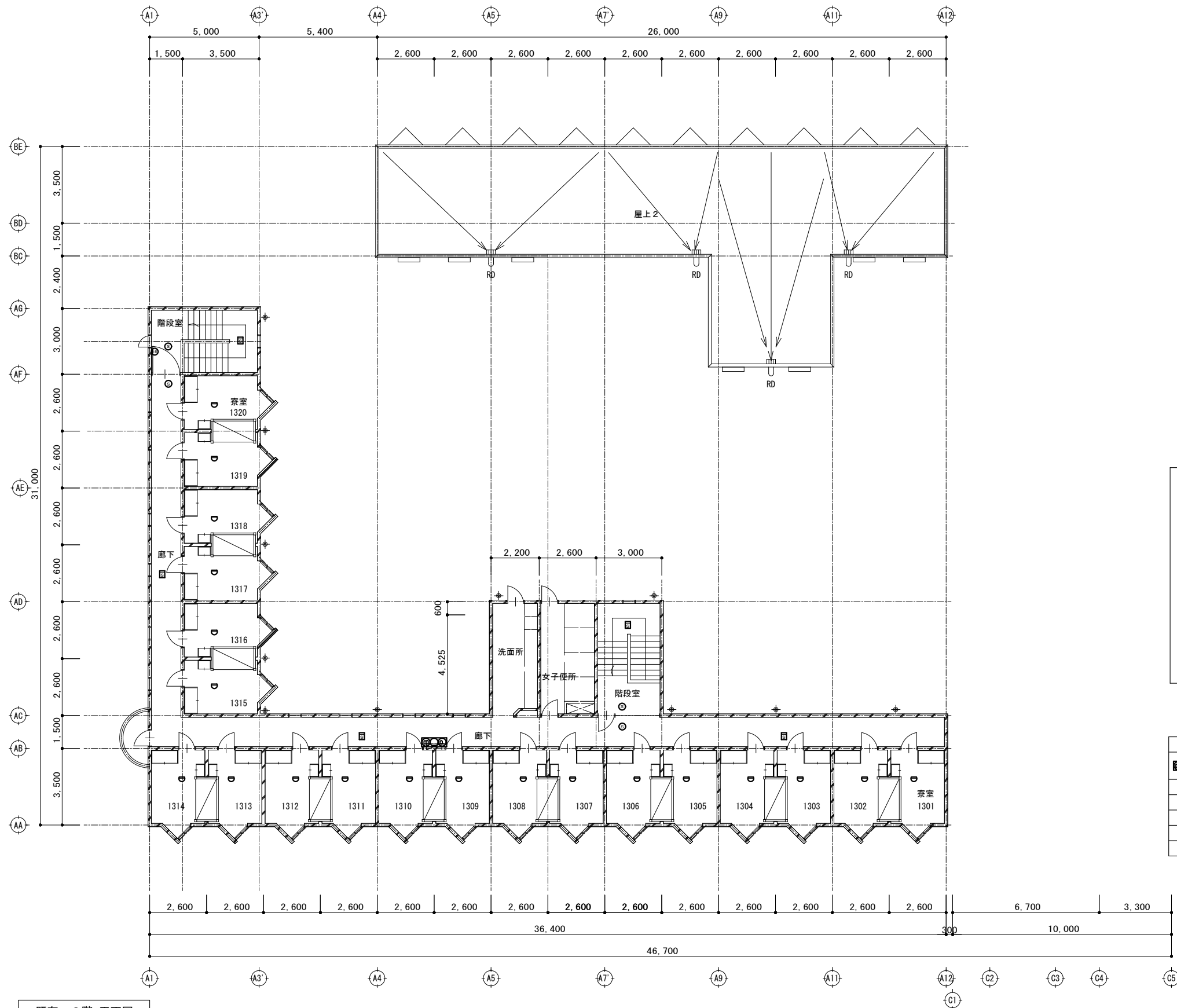
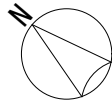
改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号  
24096

工事名称  
岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事  
図面内容  
(既存) 自動火災報知設備 2階 平面図

縮尺  
A1 1:100  
A3 1:200  
図面区分  
電気設備  
図面番号  
E-06





既存 3階 平面図

番号	名 称	工事区分
1	発信機 φ140	撤去後、新設
2	表示灯 φ92	撤去後、新設
3	ベル (盤内) φ150	撤去後、新設
4	筐 体	存置

既設総合盤姿図

下記。機器は全て撤去後、新設とする。		数量
	総合盤 (ベル、発信機、表示灯) 埋込型 図体は存置とする。ベル更新後はフット型とする。	1 面
	差動式スポット型感知器 2 種	20 個
	光電式スポット型感知器 2 種	5 個
	光電式スポット型感知器 3 種	4 個
	自動閉鎖装置 ラッチ式	1 個

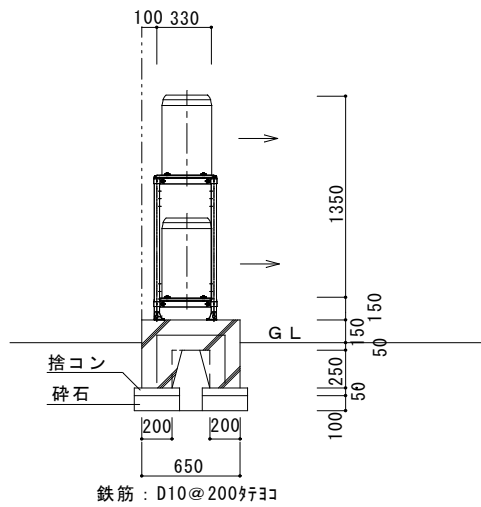


撤去 空調機器表

記 号	品 名	仕 様	電 力			台 数	備 考	形 式 ・ 型 番
			φ	V	k w			
< 冷 暖 房 >								
冷房 / 暖房								
ACR22	ルーム型空調屋外機	床置型 冷暖房兼用タイプ 冷房能力＝2.2kW 暖房能力＝ 2.5kW インバータ式 Comp：0.78kW R410A	1	100	0.44 / 0.45	86	壁掛架台共	RAC-SV22Y
ACR50	ルーム型空調屋外機	床置型 冷暖房兼用タイプ 冷房能力＝5.0kW 暖房能力＝ 6.0kW インバータ式 Comp：1.8kW R410A	1	200	1.81 / 1.66	1	壁掛架台共	RAC-SV50Y
WR22	ルーム型空調室内機	壁掛型 冷暖房兼用タイプ 冷暖房能力＝2.2/2.5kW トﾞレンアップ、ワイヤレスモコン、付属品共				86		RAS-SV22Y
WR50	ルーム型空調室内機	壁掛型 冷暖房兼用タイプ 冷暖房能力＝5.0/6.0kW ワイヤレスモコン、付属品共				1		RAS-SV50Y
FF1	FF型石油暖房機	床置型 灯油タンク内蔵タイプ 暖房能力：1.59～5.65kw				4	ゲストルーム、談話室、管理室×2	FF473CTL

新設 空調機器表

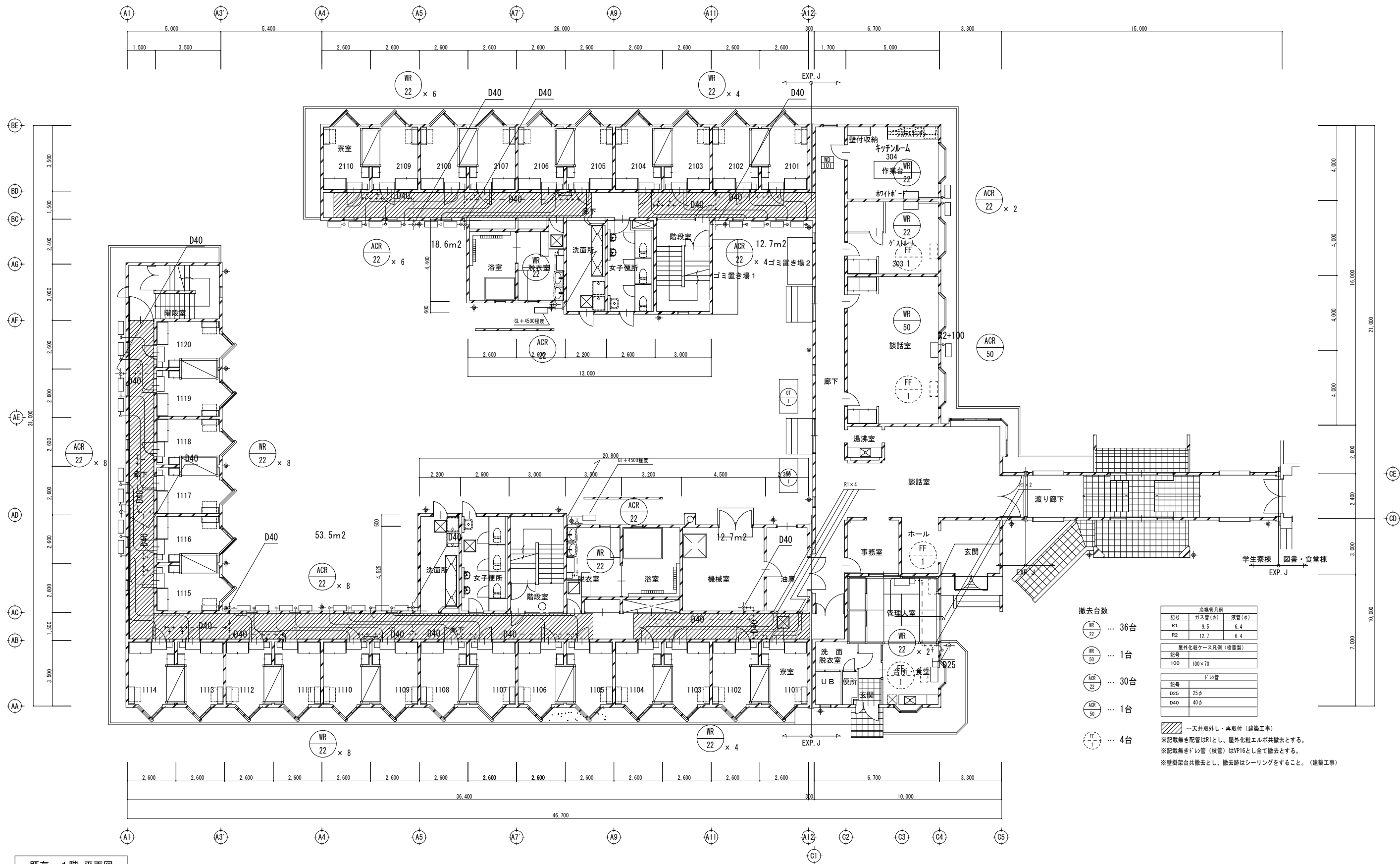
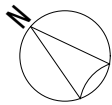
記 号	品 名	仕 様	電 力			台数	備 考	形式 ・ 型番（参考）
			φ	V	k w			
< 冷 暖 房 >			冷房 / 暖房					
ACR22	ルーム型空調屋外機	床置型 冷暖房兼用タイプ 冷房能力＝2.5kW 暖房能力＝ 2.8kW インバータ式 Comp：0.65kW R32	1	100	0.71 / 0.65	86	平架台、二段置台、コンクリートへゝ共 ※冷媒管長に留意すること。	RAC-AJ25R
ACR71	ルーム型空調屋外機	床置型 冷暖房兼用タイプ 冷房能力＝7.1kW 暖房能力＝ 8.5kW インバータ式 Comp：1.9kW R32	1	200	2.78 / 2.93	1	平架台、コンクリートへゝ共	RAC-AJ71R2
WR22	ルーム型空調室内機	壁掛型 冷暖房兼用タイプ 冷暖房能力＝2.2/2.2kW トﾞレンアップ、ワイヤレスモコン、付属品共				86		RAS-AJ25R
WR71	ルーム型空調室内機	壁掛型 冷暖房兼用タイプ 冷暖房能力＝7.1/8.5kW ワイヤレスモコン、付属品共				1		RAS-AJ71R2



屋外機基施工参考図 1/25

※建築工事とする。

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事	図面内容 空調設備撤去・新設機器表	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.	図面区分 機械設備	図面番号 M-02



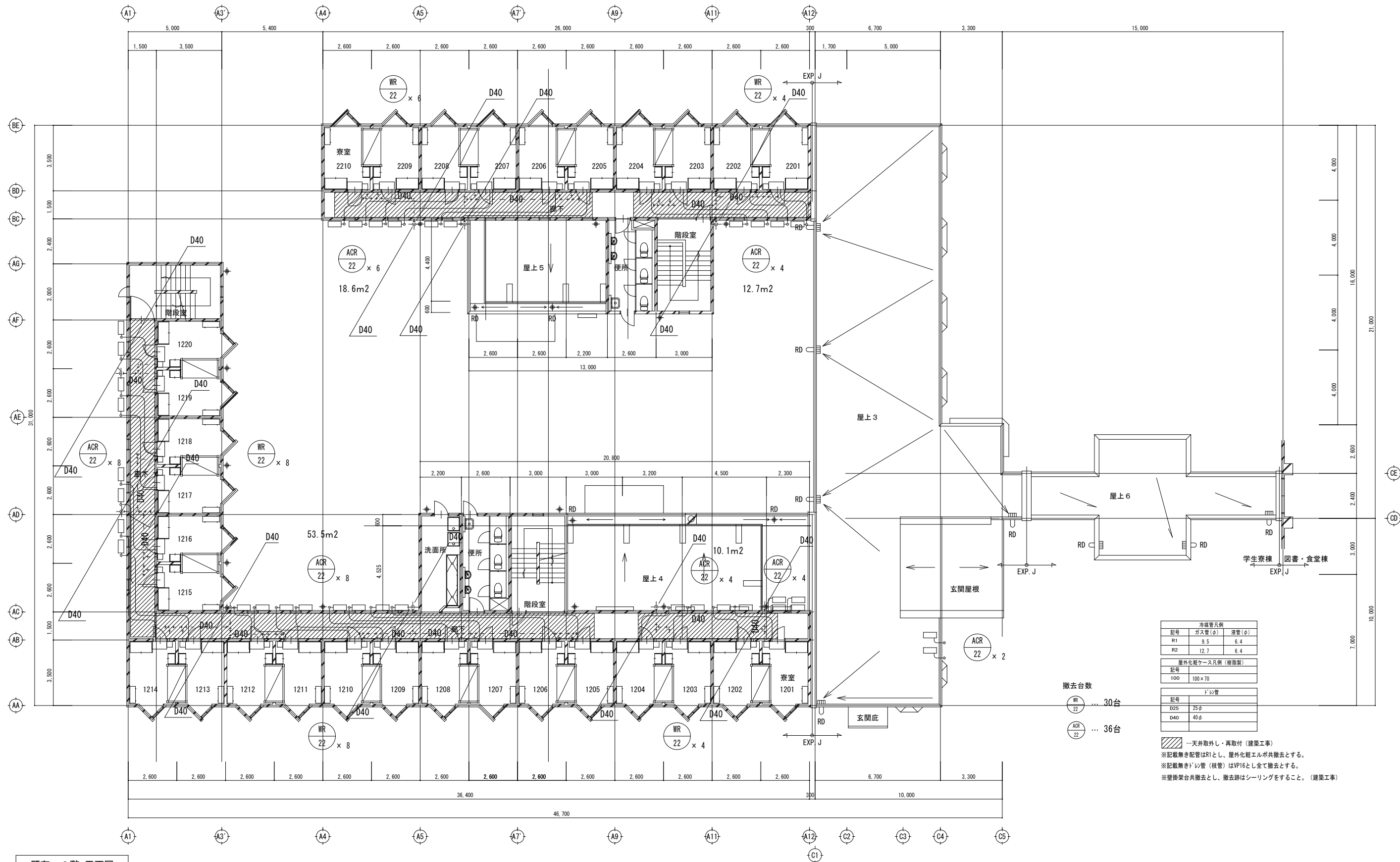
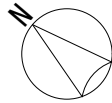
既存 1階 平面図

特 記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
24096	岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事
図面内容	図面区分
空調設備 1階撤去平面図	機械設備

縮尺	図面区分	図面番号
A1 1:100 A3 1:200		M-03



冷暖管凡例		
記号	ガス管(φ)	湯管(φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4

屋外化粧ケース凡例(樹脂製)	
記号	
100	100×70

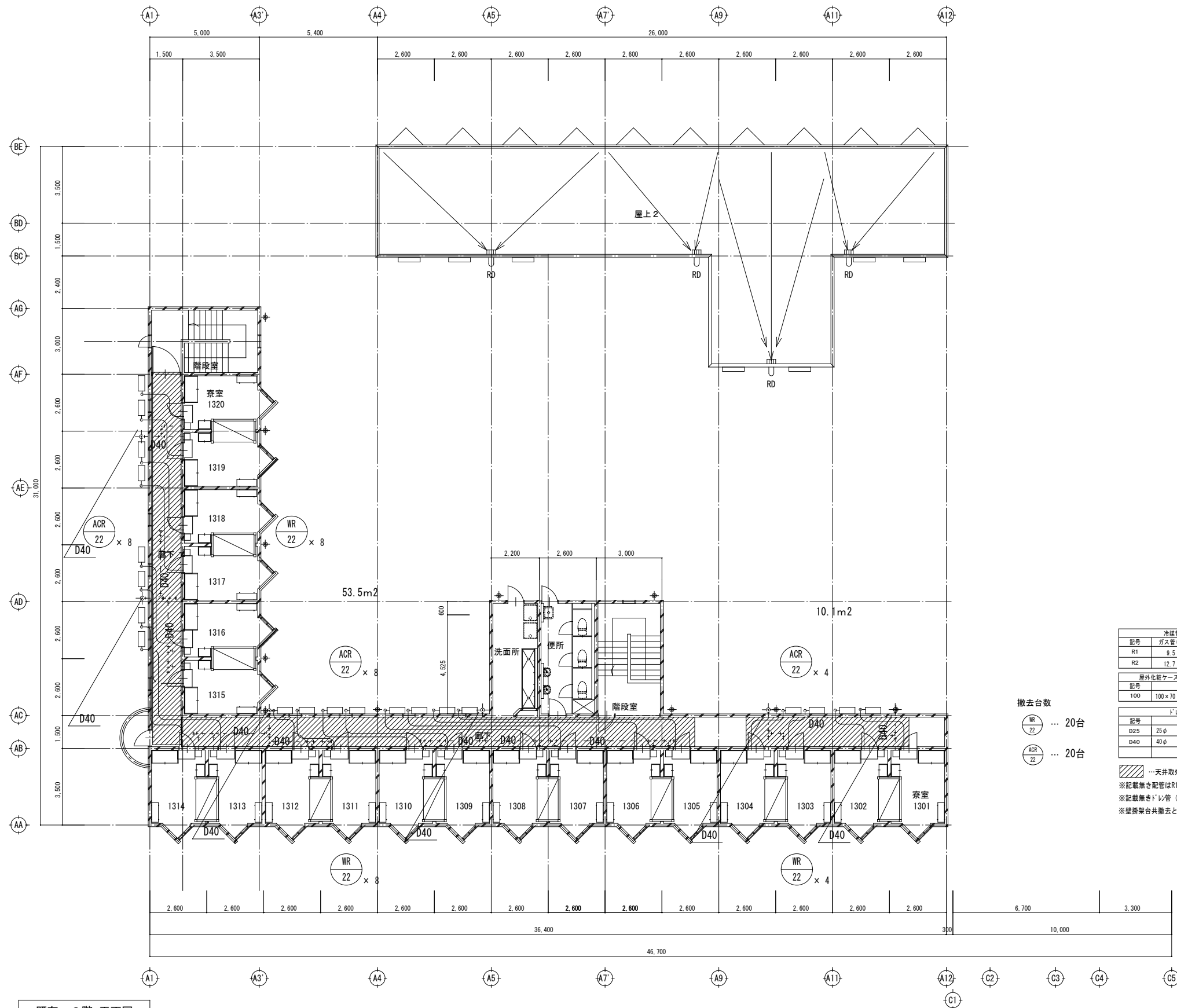
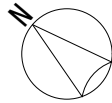
ドレン管	
記号	
D25	25φ
D40	40φ

…天井取外し・再取付(建築工事)  
※記載無き配管はR1とし、屋外化粧エルボ共撤去とする。  
※記載無きドレン管(枝管)はVP16とし全て撤去とする。  
※壁掛架台共撤去とし、撤去跡はシーリングをすること。(建築工事)

撤去台数  
WR 22 … 30台  
ACR 22 … 36台

既存 2階 平面図

特 記			改訂番号改訂月日改訂内容		業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
						図面内容 空調設備2階撤去平面図		
						縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 図面番号 M-04	機械設備



撤去台数

WR 22 ... 20台

ACR 22 ... 20台

冷媒管凡例		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4

屋外化熱ケース凡例 (樹脂製)		
記号		
100	100×70	

ドレン管		
記号		
D25	25φ	
D40	40φ	

…天井取外し・再取付 (建築工事)

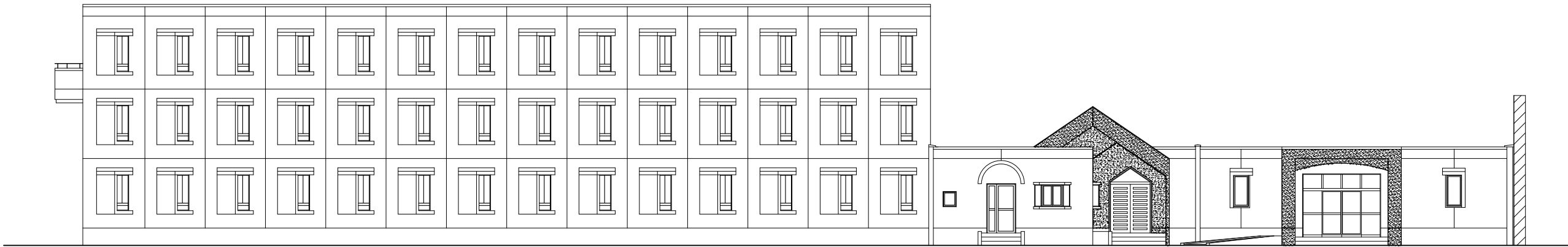
※記載無き配管はR1とし、屋外化熱エルボ共撤去とする。

※記載無きドレン管 (枝管) はVP16とし全て撤去とする。

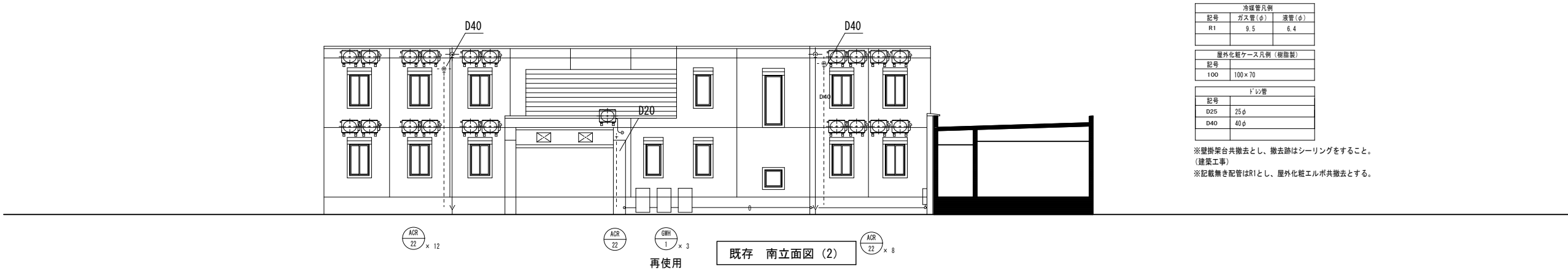
※壁掛架台共撤去とし、撤去跡はシーリングをすること。(建築工事)

既存 3階 平面図

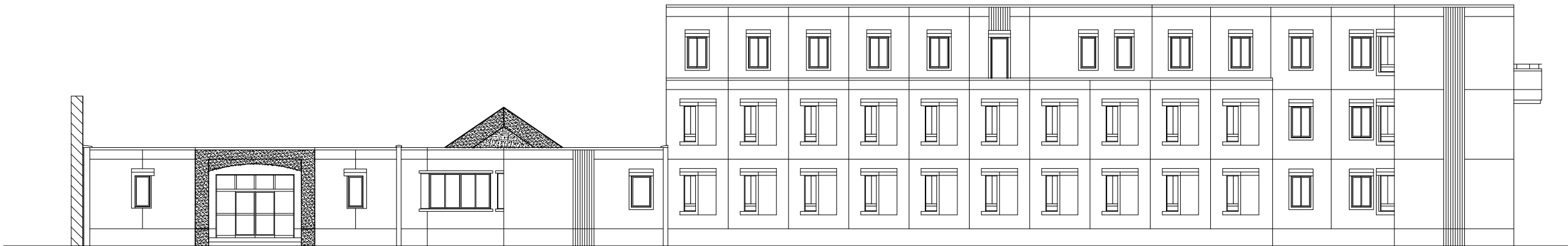




既存 南立面図 (1)

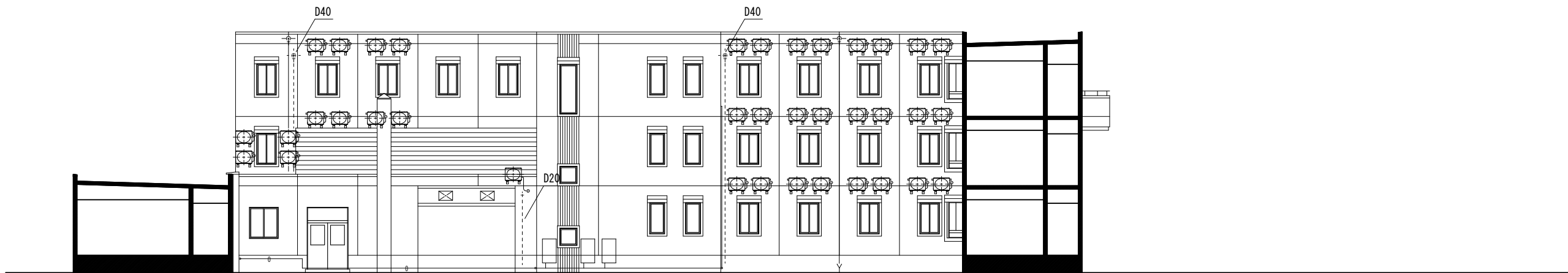


既存 南立面図 (2)



既存 北立面図 (1)

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事 図面内容 空調設備撤去立面図 1	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 図面番号 M-06	機械設備



ACR  
22  
x 12

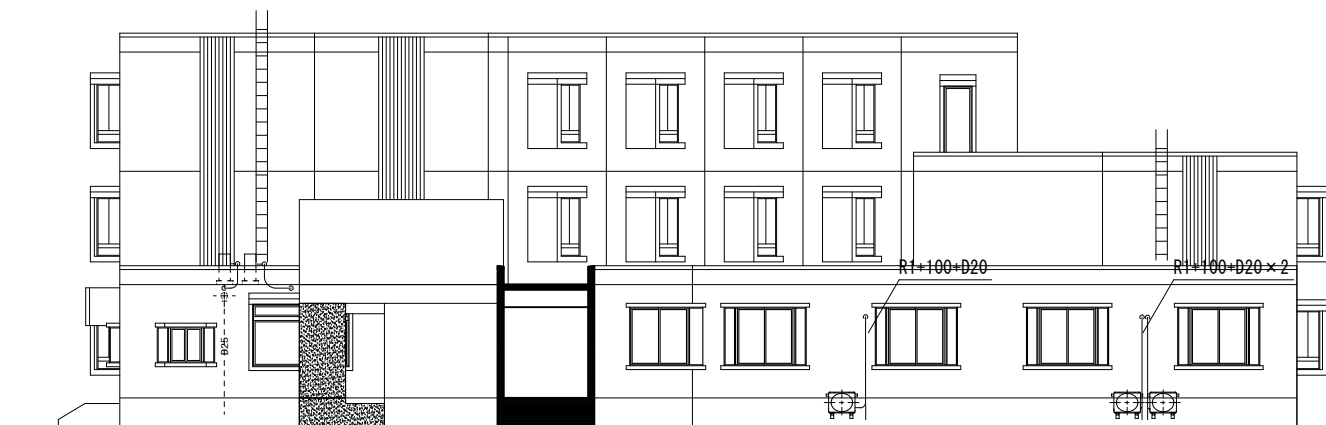
ACR  
22

GRH  
1  
x 3

既存 北立面図 (2)

ACR  
22  
x 24

再使用

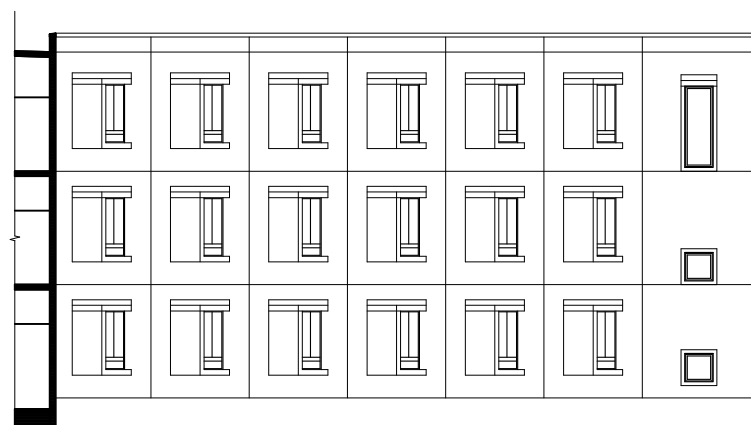


ACR  
22  
x 2

既存 東立面図 (1)

ACR  
50

ACR  
22  
x 2



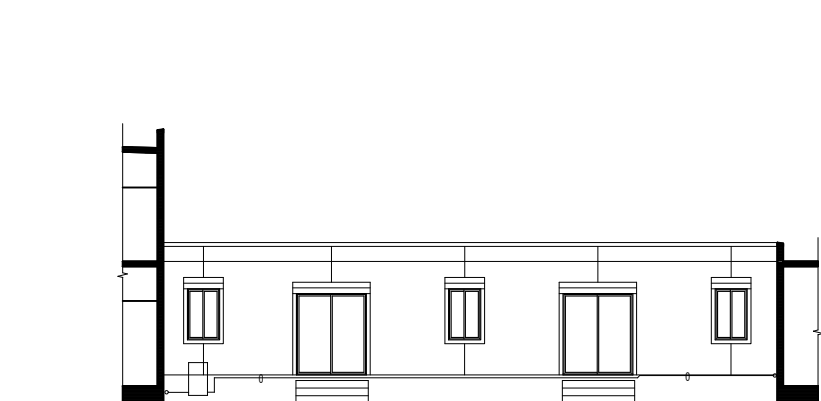
既存 東立面図 (2)

冷暖管凡例		
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)
R1	9.5	6.4

屋外化熱ケース凡例 (樹脂製)	
記号	
100	100×70

ドレン管	
記号	
D25	25φ
D40	40φ

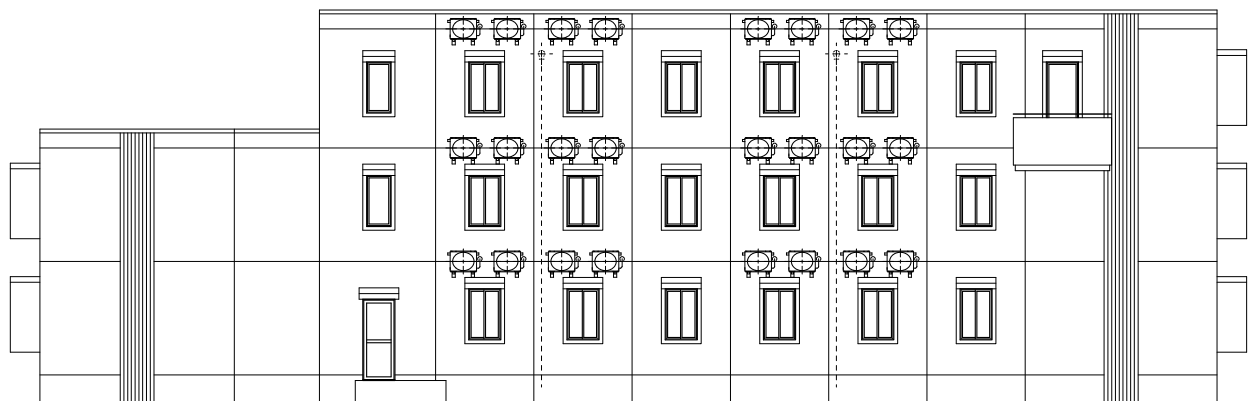
※壁掛架台共撤去とし、撤去跡はシーリングをすること。  
(建築工事)  
※記載無き配管はR1とし、屋外化熱エルボ共撤去とする。



GRH  
1

再使用

既存 西立面図 (1)



既存 西立面図 (2)

ACR  
22  
x 24

特 記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号

工事名称

岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事

図面内容

空調設備撤去立面図 2

縮尺

A1 1:100

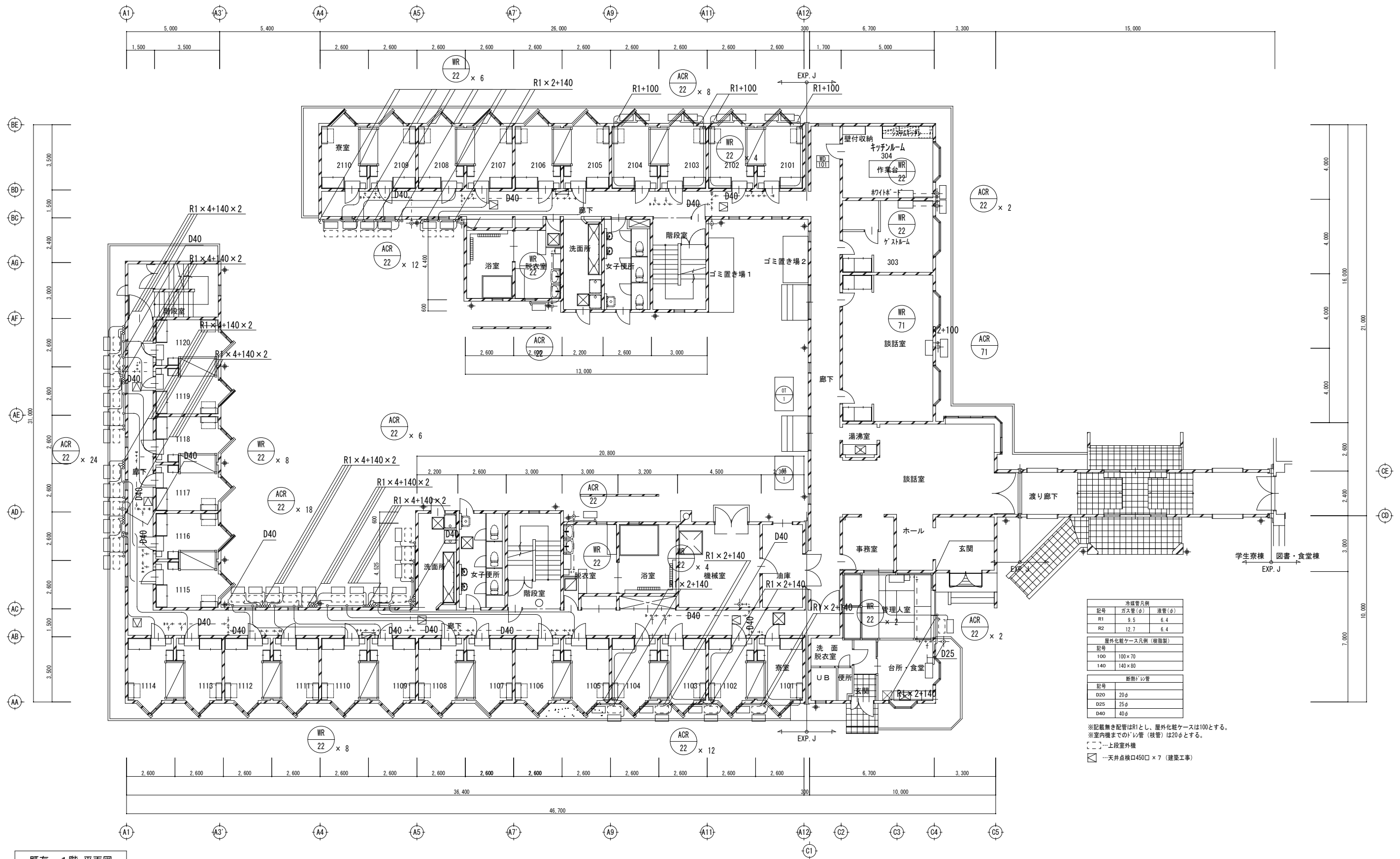
A3 1:200

図面

区分

機械設備

番号 M-07



冷媒管凡例		
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4


屋外化熱ケース凡例 (樹脂製)	
記号	
100	100×70
140	140×80

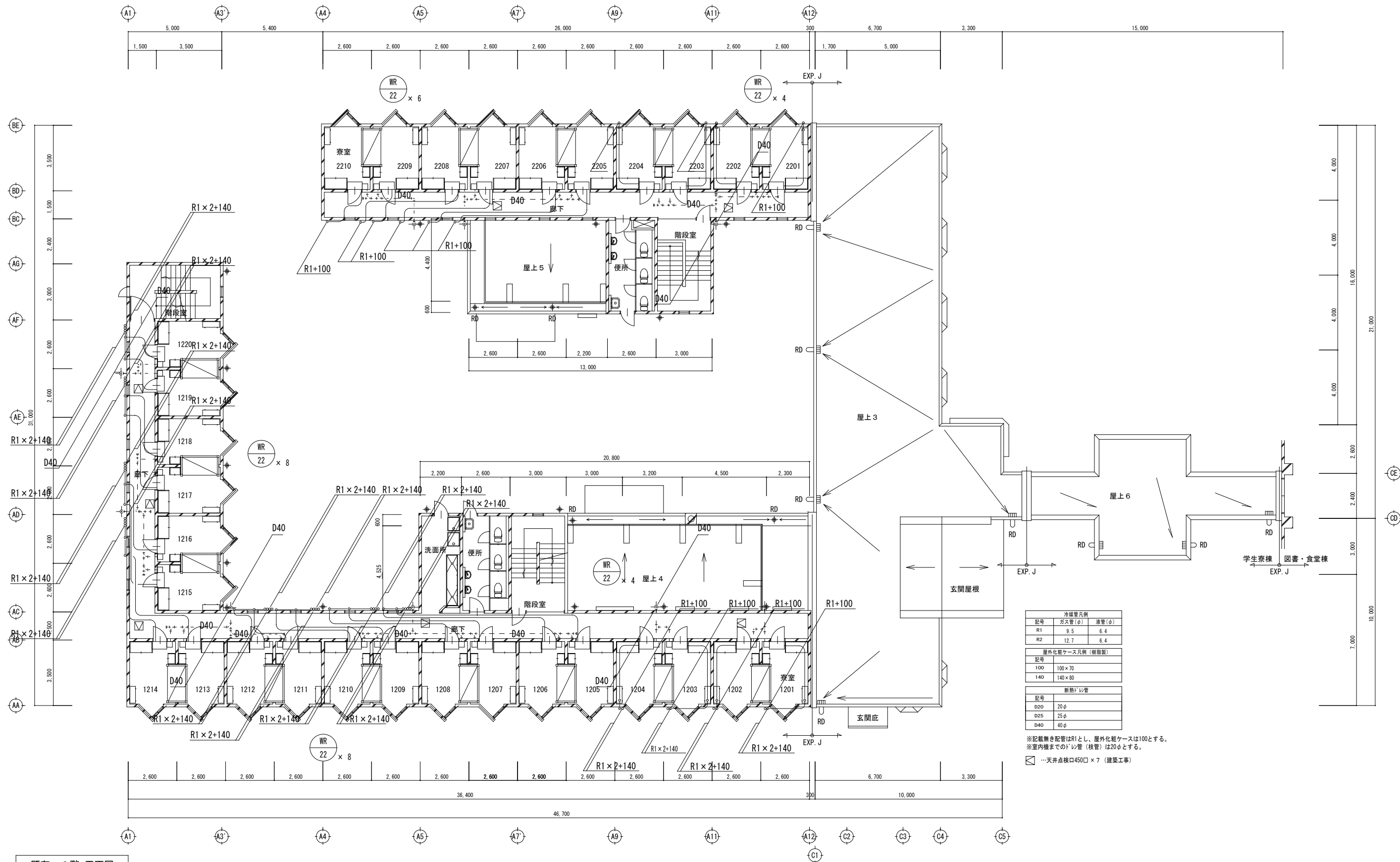
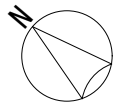
断熱ドレン管	
記号	
D20	20φ
D25	25φ
D40	40φ

※記載無き配管はR1とし、屋外化粧ケースは100とする。  
※室内機までの「ㇿ」管（枝管）は20φとする。

【二】…上段室外機

 …天井点検口450□×7（建築工事）

特記		改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事				
						図面内容 空調設備 1 階新設平面図	縮尺	図面区分	機械設備	
							A1 1:100			
							A3 1:200	図面番号	M-08	



冷媒管凡例		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4

屋外化整ケース凡例 (樹脂製)		
記号	サイズ	用途
100	100×70	ガス管
140	140×80	液管

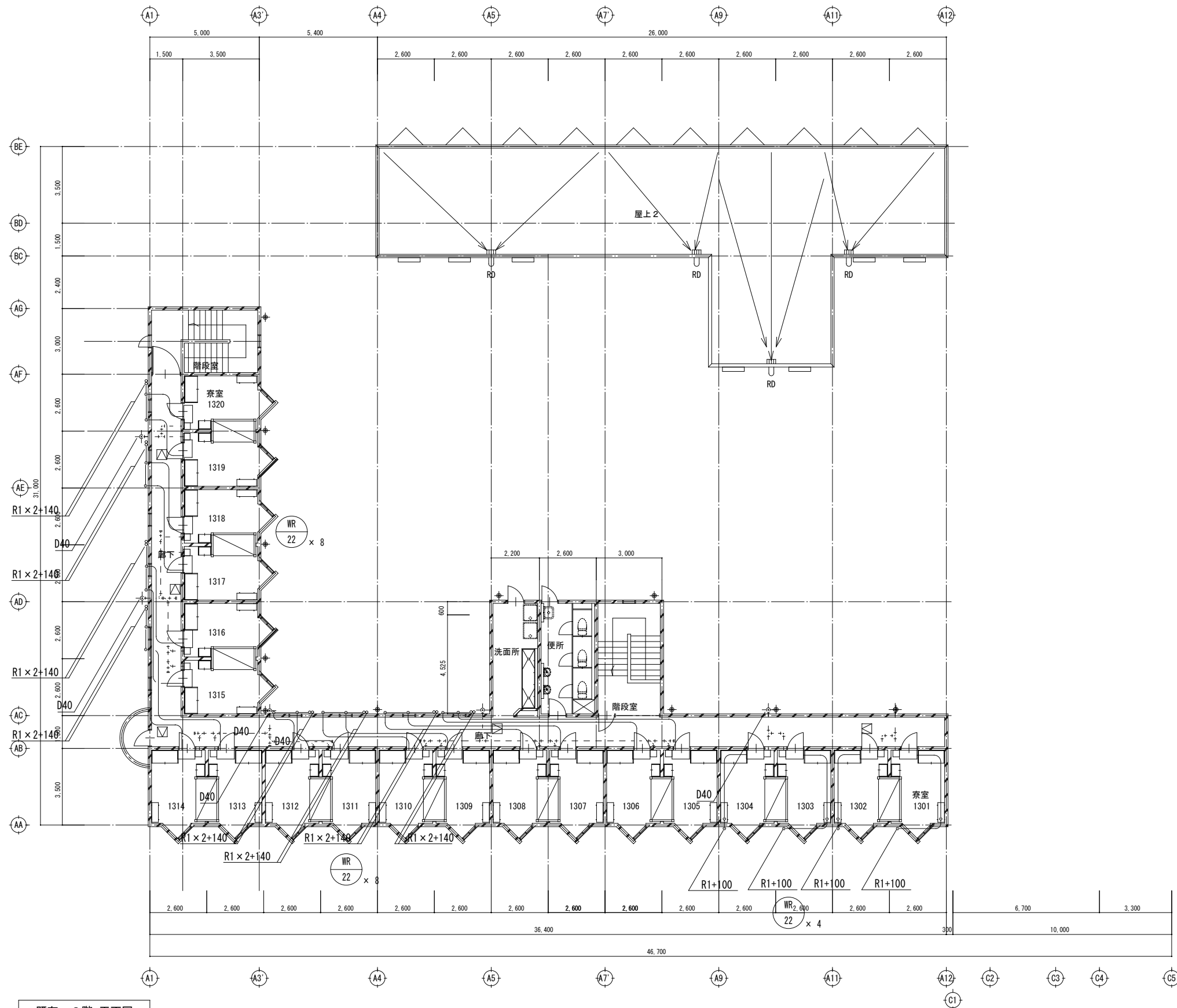
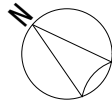
断熱Dパイプ	
記号	断熱径
D20	20φ
D25	25φ
D40	40φ

※記載無き配管はR1とし、屋外化整ケースは100とする。  
※室内機までのDパイプ(枝管)は20φとする。

…天井点検口450□×7 (建築工事)

既存 2階 平面図

	特 記	改訂番号改訂月日改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		
				図面内容 空調設備 2階新設平面図		
				縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 M-09	機械設備



冷媒管凡例		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4

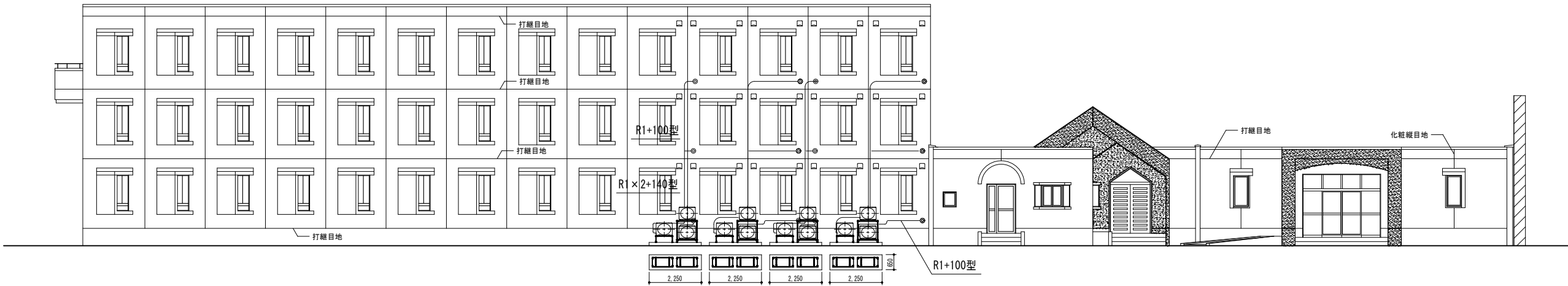
屋外化粧ケース凡例 (樹脂製)	
記号	
100	100×70
140	140×80

断熱ドレン管	
記号	
D20	20φ
D25	25φ
D40	40φ

※記載無き配管はR1とし、屋外化粧ケースは100とする。  
※室内機までのドレン管(枝管)は20φとする。

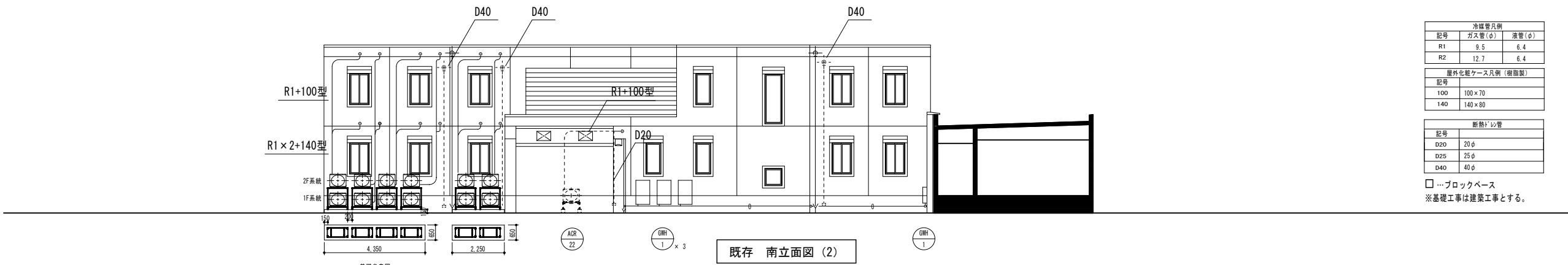
☐ …天井点検口450□×4 (建築工事)

既存 3階 平面図



既存 南立面図 (1)

AGR  
22  
× 12



既存 南立面図 (2)

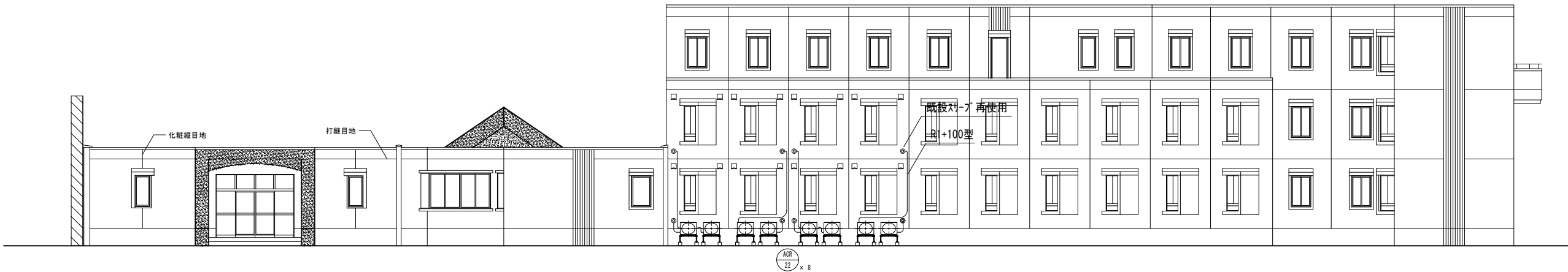
AGR  
22  
× 12

冷媒管凡例		
記号	ガス管(φ)	液管(φ)
R1	9.5	6.4
R2	12.7	6.4

屋外化霜ケース凡例 (樹脂製)		
記号	幅	高さ
100	100×70	
140	140×80	

断熱ｼｰﾂ	
記号	断熱ｼｰﾂ
D20	20φ
D25	25φ
D40	40φ

□ …ブロックベース  
※基礎工事は建築工事とする。



既存 北立面図 (1)

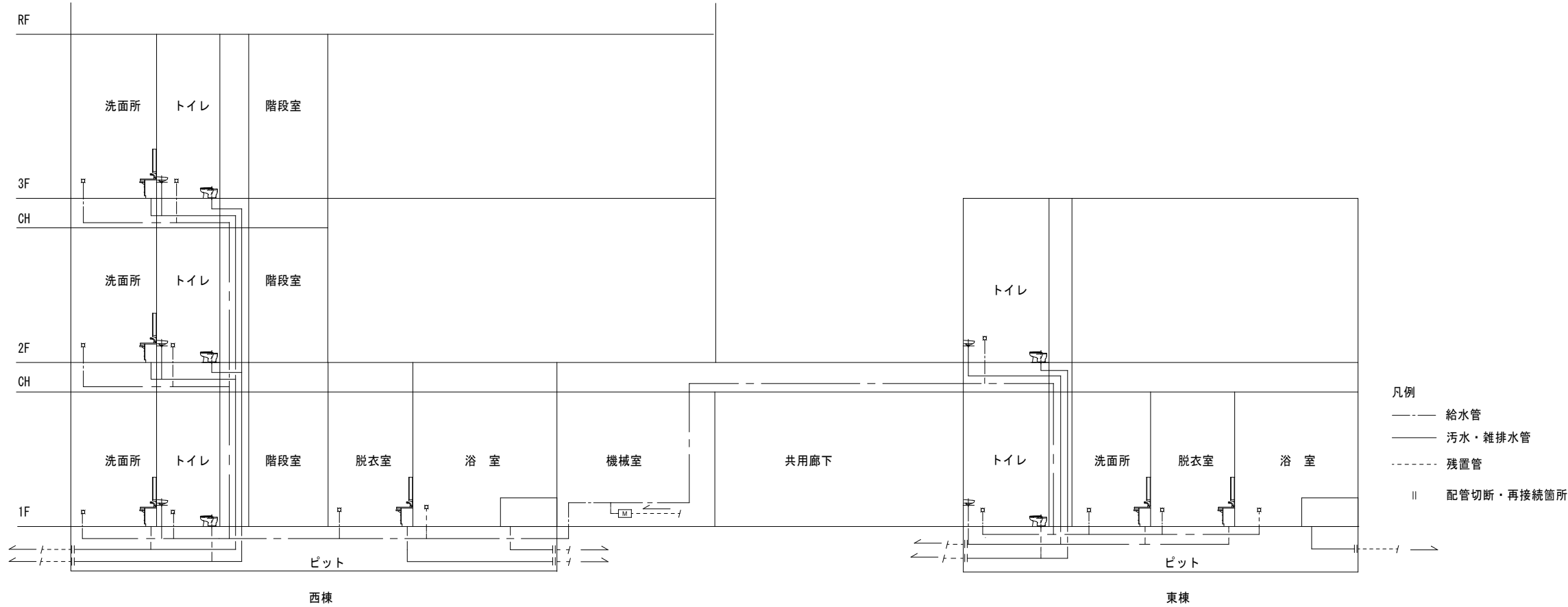
AGR  
22  
× 8

特 記			業務番号		工事名称		図面内容		縮尺		図面区分		機械設備	
			改訂番号		改訂月日		改訂内容		24096		岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事		空調設備新設立面図 1	
											A1 1:100		図面番号	
											A3 1:200		M-11	

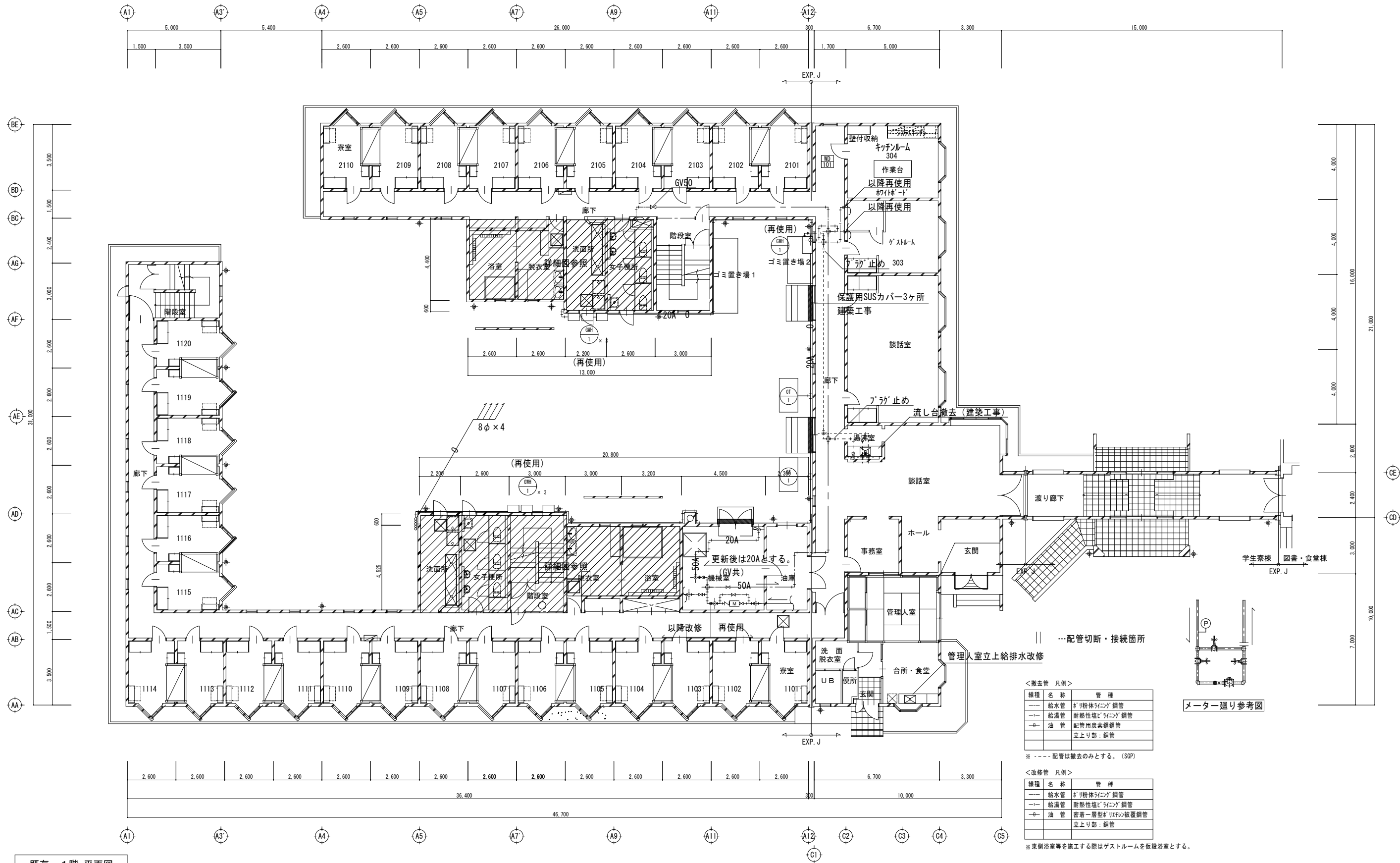
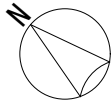
	特 記		改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称
							岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事
							図面内容
							縮尺
							図面区分
							機械設備
							図面番号
							M-12

衛生器具表・機器表

	名 称	改 修 内 容	工 事 区 分	東側浴室・脱衣室	東側1階洗面室	東側1階トイレ	共用廊下	西側浴室・脱衣室	西側1階洗面室	西側1階トイレ		東側2階トイレ		西側2階洗面室	西側2階トイレ		西側3階洗面室	西側3階トイレ	給湯室	管理室	屋外	合計
	洋風大便器	取外し・再取付	機械設備工事			3				3		3			3			3				15
	洋風大便器	撤去・新設	機械設備工事																1			1
	洗面化粧台（水栓共）	取外し・再取付	機械設備工事	2				2														4
	手洗器	取外し・再取付	機械設備工事			2				2		2			2			2				10
	S K	取外し・再取付	機械設備工事			1				1		1			1			1				5
	給水栓	取外し・再取付	機械設備工事	1	2	6		1	2	6		6		2	6		2	6				40
	混合水栓	取外し・再取付	機械設備工事	1	4			1	4					4			4					18
	シャワー水栓	取外し・再取付	機械設備工事	3				4														6
	水抜栓	取外し・再取付	機械設備工事	1	1			1	1					1			1					6
	給湯器	取外し・再取付	機械設備工事		1				1					1			1				7	11
	洗濯パン（トラップ共）	取外し・再取付	機械設備工事		2				2					2			2					8
	流し台	取外し・再取付	建築工事		1				1					1			1					4
	流し台（付属品共）	撤去	建築工事																1			1
	流し台	撤去・新設	建築工事																1			1
	床上掃除口	取外し・再取付	機械設備工事		1	3			1	2		2		1	1		1	1				9
	GV20	撤去・新設	機械設備工事		4			4														8
	GV32	撤去・新設	機械設備工事					1														1
	GV50	新設	機械設備工事				1															1







＜撤去管 凡例＞

線種	名称	管 種
----	給水管	φリ粉体ライニング鋼管
----	給湯管	耐熱性塩ビライニング鋼管
----	油 管	配管用炭素鋼管
----		立上り部：鋼管

※ ---- 配管は撤去のみとする。(SGP)

＜改修管 凡例＞

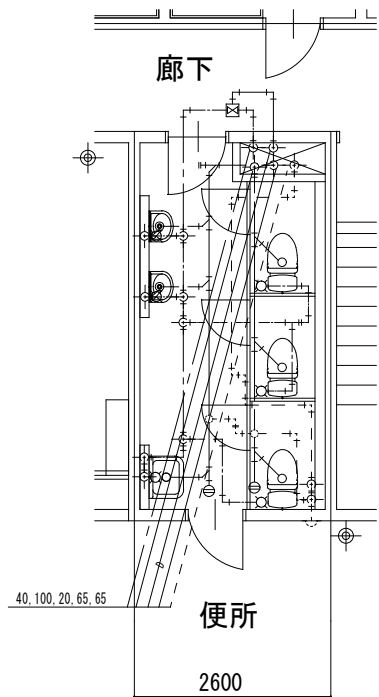
線種	名称	管 種
----	給水管	φリ粉体ライニング鋼管
----	給湯管	耐熱性塩ビライニング鋼管
----	油 管	密着一層型φリフレ被覆鋼管
----		立上り部：鋼管

※東側浴室等を施工の際はゲストルームを仮設浴室とする。

既存 1階 平面図

	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 24096	工事名称 岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事 図面内容 給排水設備1階撤去・新設平面図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面区分 機械設備	図面番号 M-14

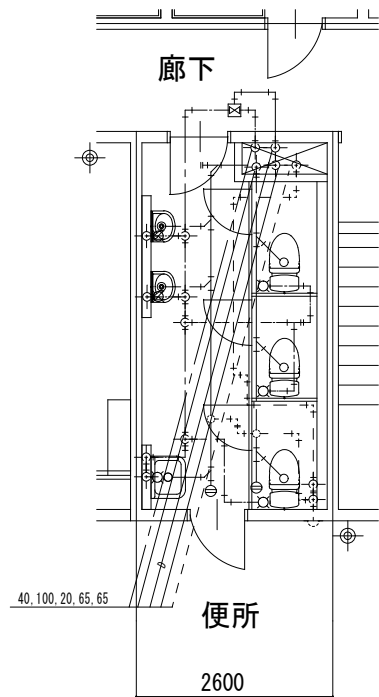




東側2Fトイレ詳細図

<撤去管 凡例>

線種	名 称	管 種
---	給水管	ポリ粉体ライニング鋼管
---	給湯管	耐熱性塩ビライニング鋼管
---	排水管	硬質塩化ビニル管
---	通気管	硬質塩化ビニル管
-0-	油 管	銅管（化粧ケース（75×63））共

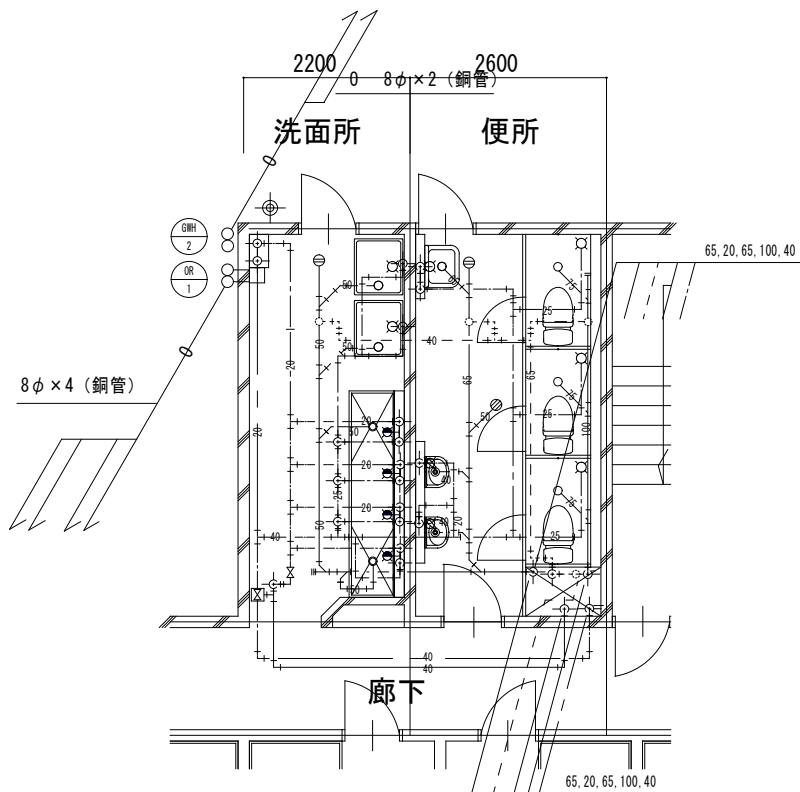


東側2Fトイレ詳細図

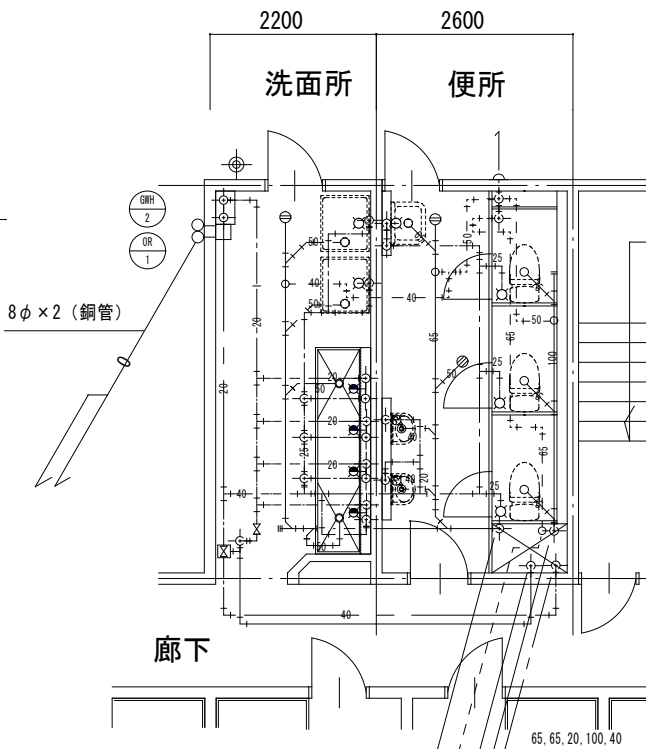
<改修管 凡例>

線種	名 称	管 種
---	給水管	ポリ粉体ライニング鋼管
---	給湯管	耐熱性塩ビライニング鋼管
---	排水管	硬質塩化ビニル管
---	通気管	硬質塩化ビニル管
-0-	油 管	銅管（化粧ケース（75×63））共

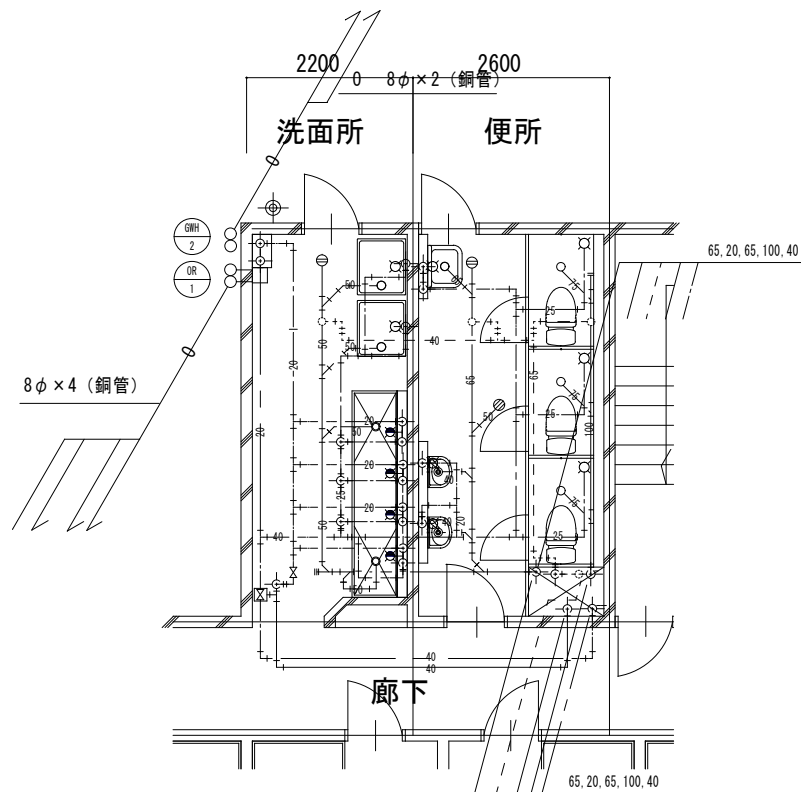
1. 水栓類は再使用とする。
2. 給湯器・お湯沸かし器は再使用とする。



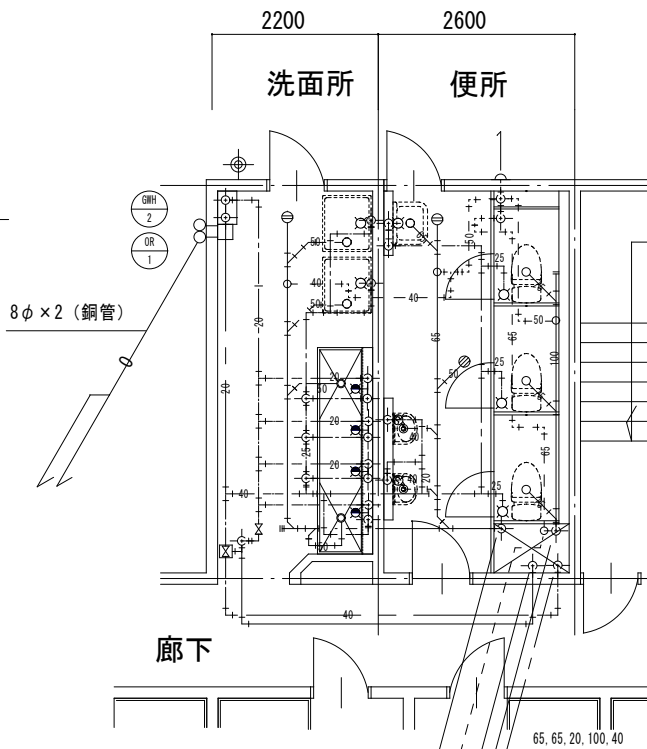
西側2F洗面・トイレ詳細図



西側3F洗面・トイレ詳細図



西側2F洗面・トイレ詳細図



西側3F洗面・トイレ詳細図

撤去図

改修図

特 記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号

工事名称

岩手県立大学宮古短期大学部学生寮冷暖房設備等改修工事

図面内容

給排水設備 2, 3 階撤去・新設詳細図

縮尺  
A1 1:50  
A3 1:100  
図面  
区分  
番号  
機械設備  
M-16